



3月6日トマトの苗が植えられました

広報 くま

本村の産業振興の中で、中心となりもつとも力を入れているのが農業です。

しかし、その現状といえば、後継者不足、高齢化により農業と農村社会が大きく変貌し、産地間競争も激しさを増すなど農業の抱える問題は山積しています。

こうした状況の中で農業を振興するため、村では野菜と花きの栽培を強力に進めています。

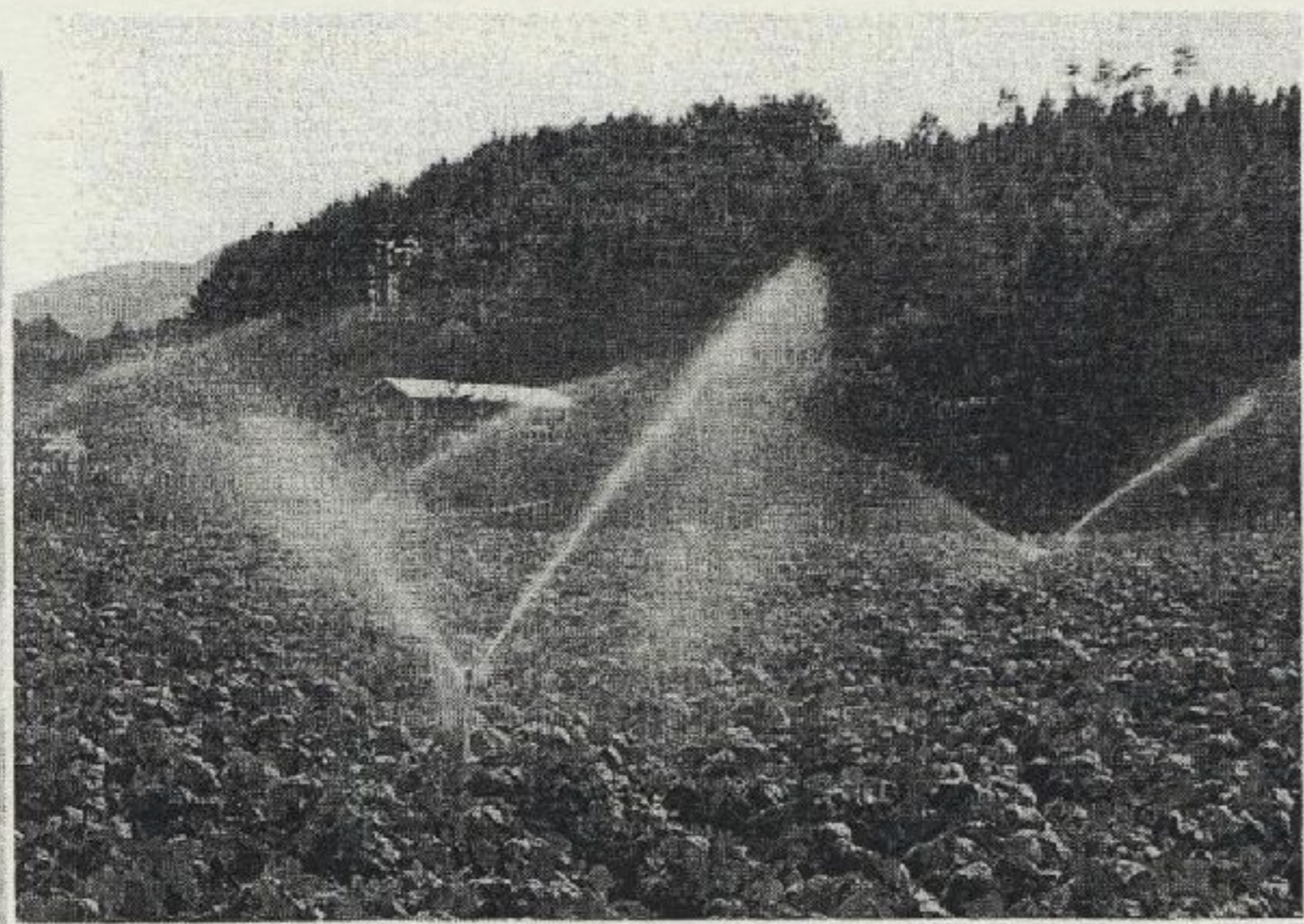
農家の間でも野菜と花きが、村のイメージアップと活性化につながる救世主となってくれればと、期待が高まっています。

平成4年
3月号
No.408

発行・九戸村役場 編集・総務課
〒028-65 TEL 0195-42-2111
岩手県九戸郡九戸村大字伊保内第10地割11番地6

■今月の主な内容

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 特集/野菜・花きは農業を豊かにできるか!②~⑬ | 駐在所ホットライン.....⑭ |
| むらの話題.....⑭~⑮ | 九戸村史編さん室.....⑯ |
| 8,300人の広場⑯~⑰ | 読書感想文コンクール.....⑰ |
| | お知らせ.....⑲~⑳ |



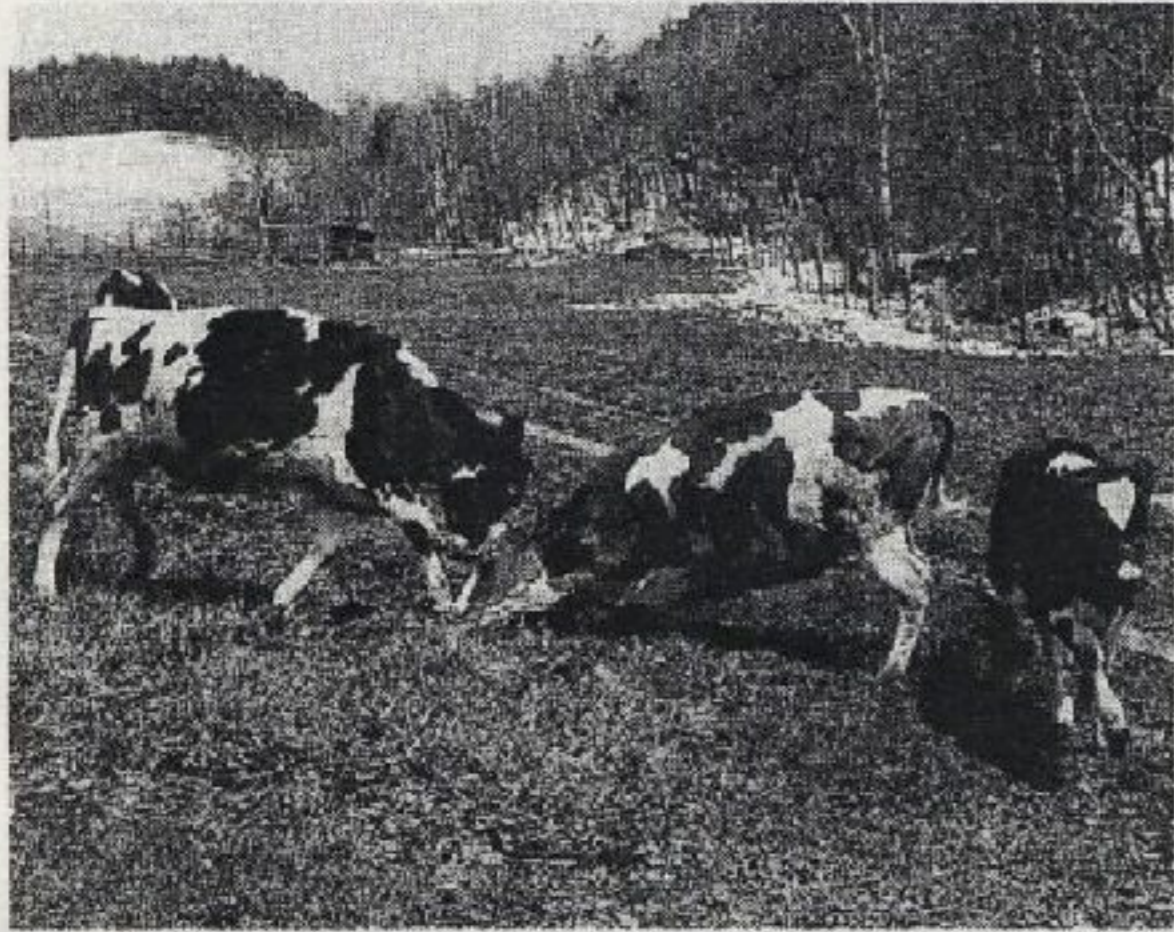
野菜と花が

九戸型農業をつくる

農業の曲がり角と言われてから久しい年月が経過しました。今の農業は、日本の市場だけでなく、世界市場の中で、置かれた立地条件や気象条件を生かし、振興策を見つけていくことが重要になっています。これを踏まえ、米やタバコが生産調整される中、村では比較的冷涼な気象条件を利用した野菜や花きの振興に力を入れています。今月号では「野菜・花きは農業を豊かにできるか」をテーマに、農業の現状を分析し、把握しながら、野菜や花きの生産状況や有利性などを検討し、その将来性の有無を確認したいと思います。



●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！



九戸村の

基幹産業ってなに？

私たちは「村の産業は何ですか」と尋ねられると、ためらわずに「農業」と答えますが、この「農業」、本当に村の基幹産業と言えるのでしょうか。この第一章では、農業が村の産業の中でどういう位置づけにあるのか、農業の抱える問題は何なのか、そして農業の振興は村の活性化につながるのか、統計の資料を分析しながら考えていきたいと思います。



村の基幹産業は農業、基幹作物は米

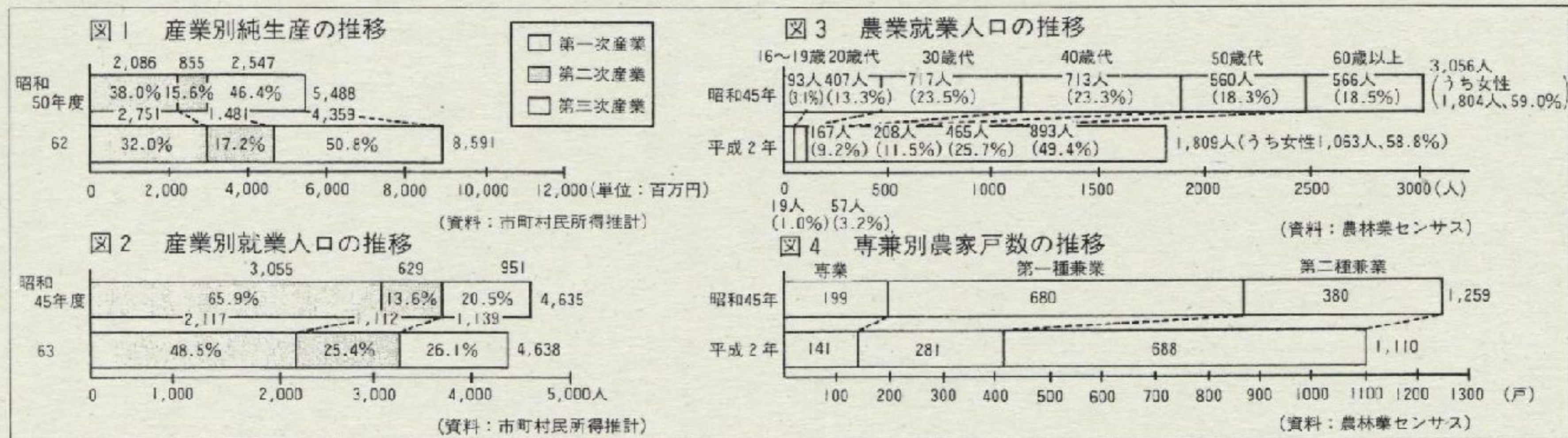
第1次産業は生産額の32%

第一次産業の中で九四・一％の純生産額をもつ農業。この章では、本村の場合農業と言い換えてもよい第一次産業が全産業の中でどの程度の力をもつのか見ていきます。産業別純生産額構成比の推移を見ると、昭和五十年は第一次産業三八・〇％、第二次産業一五・六％、第三次産業四六・四％という割合でしたが、昭和六十二年には第一次産業三二・〇％、第二次産業一七・二％、第三次産業五〇・八％となり、第一次産業が六・〇ポイント減少しています(図1参照)。さらに詳しく見ると、第一次産業は四十五年まで五〇％近い構成

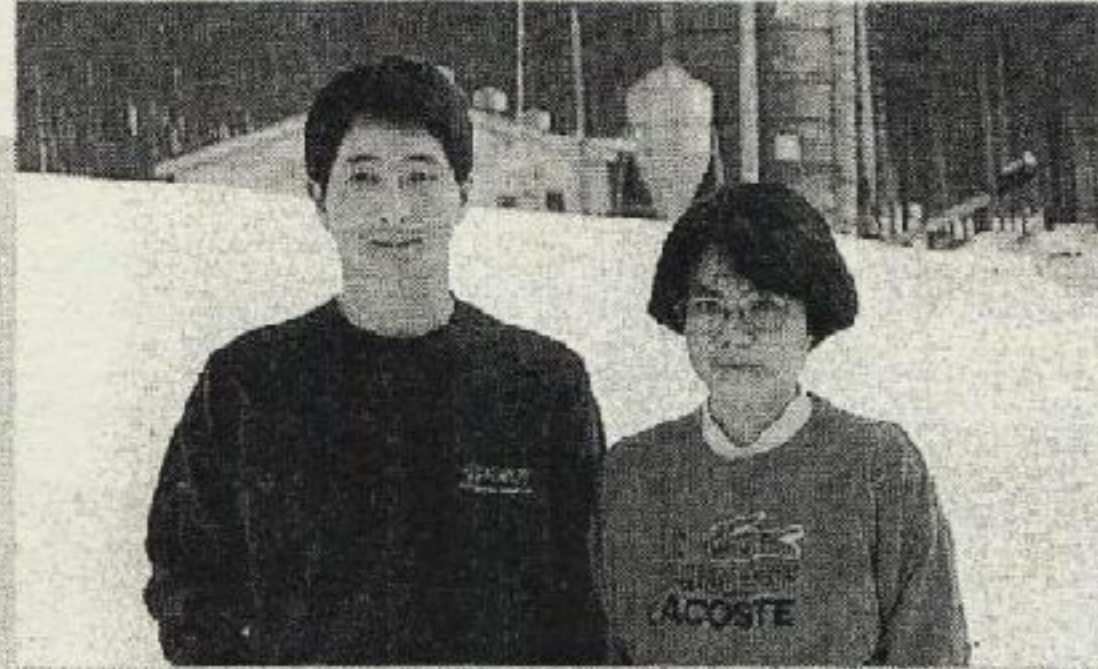
比を維持していましたが、一時二一％まで落ち込み六〇年代に入り三〇％にも直しています。この間も生産額は順調に伸びています。一方、昭和六十二年の県の純生産額における第一次産業の構成比は八・七％で、これに比べると本村では、第一次産業が大きなウェイトを占め、高い生産性を維持しているのがよく分かります。

次に産業別就業人口の推移を見てください(図2参照)。昭和四十五年の就業人口は四千六百三十五人で、うち第一次産業就業者が三千五十五人(六五・九％)で三人に二人が農業などに従事していました。それが昭和六十三年には、全就業者が四千三百六十八人中、第一次産業への就業者は二千百七十七人(四八・五％)に減っています。しかし、それでもなお就業者の約半数の人たちが第一次産業に従事しています。

以上から本村の産業の特徴として、第二次、第三次産業の伸長はあるものの、生産額や就業人口の面から見ると現在も第一次産業が大きなウェイトを占めていることと、第二次、第三次産業についても、プロイラー関連企業など第一次産業を根底にした業種が多く、第一次産業の地域経済に対する波及効果が高いことが挙げられます。



●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！



酪農組合
組長 川治 治男
取組 川治 典子
農務 典子
夫妻 (長興寺上)

妻の言葉を励みに

私が前の職を辞め、酪農の道に進んだのは、家庭の事情もありますが、年もちょうど30歳でひとり者だし、「転職するには今しかない」と思ったからです。この道に入り今年の5月で3年になりますが、このごろようやく酪農とは何かが分かりはじめてきました。

昨年4月からの牛肉の輸入自由化で牛の価格は下がり、主な収入源である牛乳も思わしくありませんが、今後は、まず多額の借金をせずに現在の規模を維持し、乳量と乳成分のアップのため採乳牛の充実を図り、コストダウンに努めなければと思っています。

また、年々酪農家が減っていますが、残っている方々の協力を得ながら「一緒に酪農しよう」と言ってくれた妻典子と共に頑張っていきたいと思っています。

生産農業所得 県内で第1位

この項では農業の経営状況を見てください。平成二年の農林業センサスによれば、本村の農家一戸当たりの経営耕地面積は一・三一〇で昭和五十年の一・四〇と比べ〇・九〇減少しています。県平均の一・二九を若干上回っているものの、小規模な経営が多数です。

農業の経営形態は、小面積でもほとんどの農家が水田を所有していることから、水稻を基幹としてこれにプロイラーなどの施設型畜産や土地生産性の高い葉タバコ、あるいは野菜を組み合わせた複合

経営が大多数となっており、岩手県の中では県北畑作地帯に属しています。

昭和六十二年の農家一戸当たりの生産農業所得は百九十五万三千円と、県平均の一・七倍で六十二市町村中最も多い額となっており、本村農業の生産性の高さを表わしています。

農業就業人口 41%もの減少

ここでは農業の抱えている問題を統計の数値を基に探ります。

農業就業人口は平成二年が一千八百九人で、昭和四十五年の三千五百十六人から一千二百四十七人(四

〇・八%)も減少しています(図3)。それにもない農家数も毎年減少し、平成二年には一千百十戸となつています。二十年の間に百四十九戸の農家が消えました(図4)。これを専業農家の推移で見ると、専業農家は百九十九戸から百四十一戸に、農業を主とする第一種兼業農家が六百八十戸から二百八十一戸に減少しています。

その一方で、兼業の方を主とする第二種兼業農家は、平成二年に六百八十八戸となつており、二十一年間で三百八戸も増えています。農業以外の収入に依存している実態が浮きぼりになります。

さらに農業就業者の年代推移を見ると危機的状況が分かります。

昭和四十五年から平成二年までの二十一年間で農業就業者のうち十代の人が九十三人から十九人、二十代の人々が四百七人から五十七人と五分の一以下に激減しています。この外の三十代、四十代、五十代もすべて減少しています。

ところが六十歳以上の農業就業者だけは八百九十三人(四九・四%)と二十年前の調査より三百二十七人、三〇・九ポイントも増えており、農業の高齢化が急速に進んでいるのが分かります(図3)。

また、女性の割合も多く平成二年には農業就業人口一千八百九人

のうち、女性は一千六十三人で五八・八%を占めています(図3)。このように農業の高齢化、婦女子化が進む中、農業を継いだ若者の数をここ五年で見ると、平成元年に二人、二年、三年がそれぞれ一人ずつで合わせて四人だけとなつています。三ちゃん農業という古い言葉が今もお生きています。

こうした状況は田や畑を耕作できず、結果として耕作放棄地を増やしてしまうこととなります。

昭和五十五年に耕作放棄した農家は六十二戸で面積が二千二十九アだったものが、平成二年には二百一戸、七千六百五十六アと、戸数で三・二倍、面積では三・八倍にもなつています。

第1次産業は 村の基幹産業

これまで本村の農業がもつ生産額や就業者数、問題点などを見てくださいました。これらの数値の分析結果から言うと、本村の農業はいろいろな問題を抱えてはいるものの、現在もなお立派な基幹産業であると言えることができます。

しかし、農業をこのまま放置すれば、後継者不足などで衰退していくことは統計上明らかです。次の章では村の基幹産業である農業の振興について考えます。

野菜作り

現状はいかに？



村の基幹産業は農業であることは前章で確認しました。生産額ではプロイラーなどの畜産が八三・八%を占めます。一方生産農家が多いのは、米、タバコ、野菜の順で七五・二%となり、大部分の農家は耕種農家で米に野菜やたばこの複合経営です。こうしたことから村では畜産の振興とともに、土地利用状況や気象条件にあった野菜づくりに力を入れています。この章では野菜の現状を紹介します。

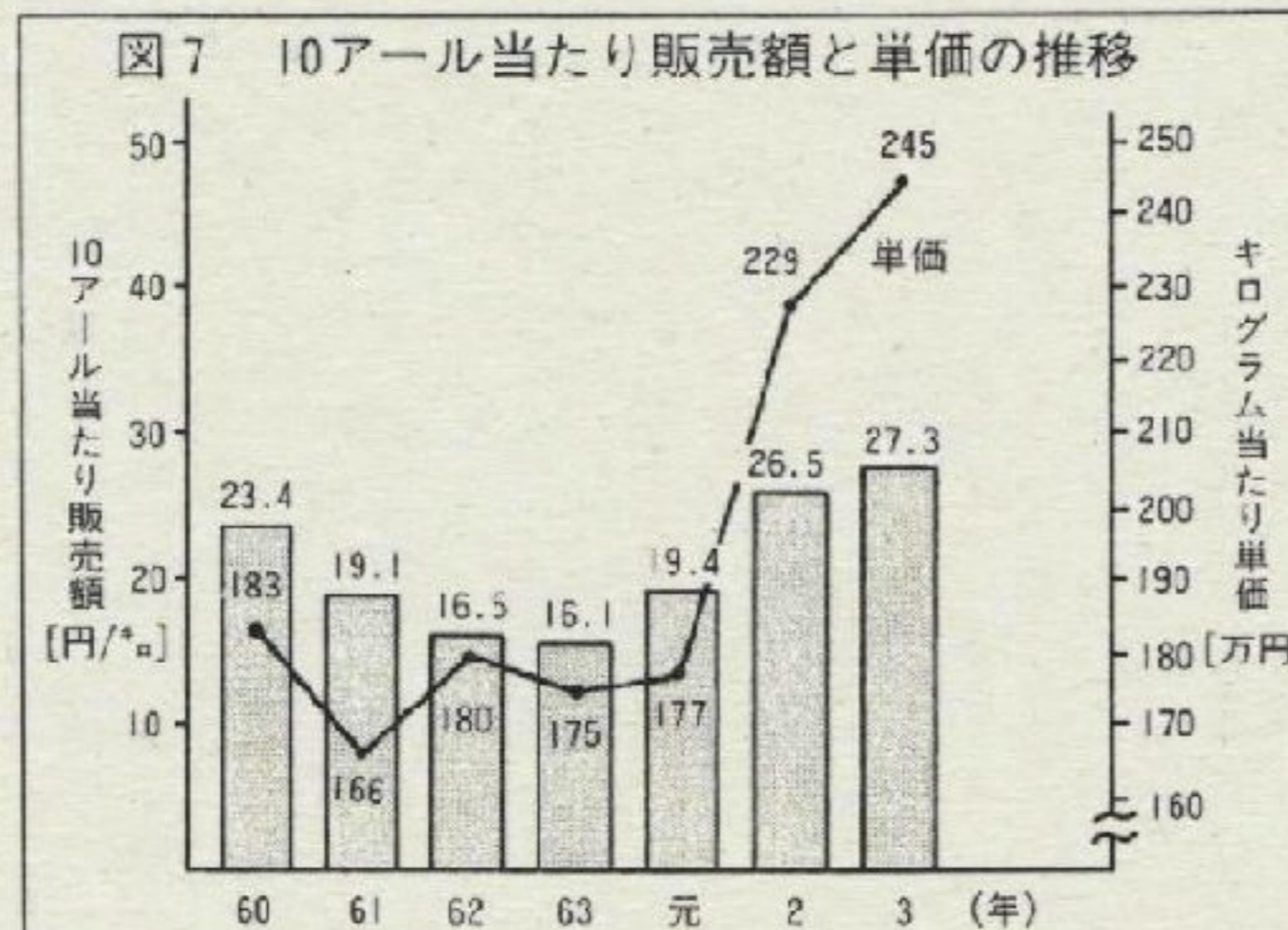
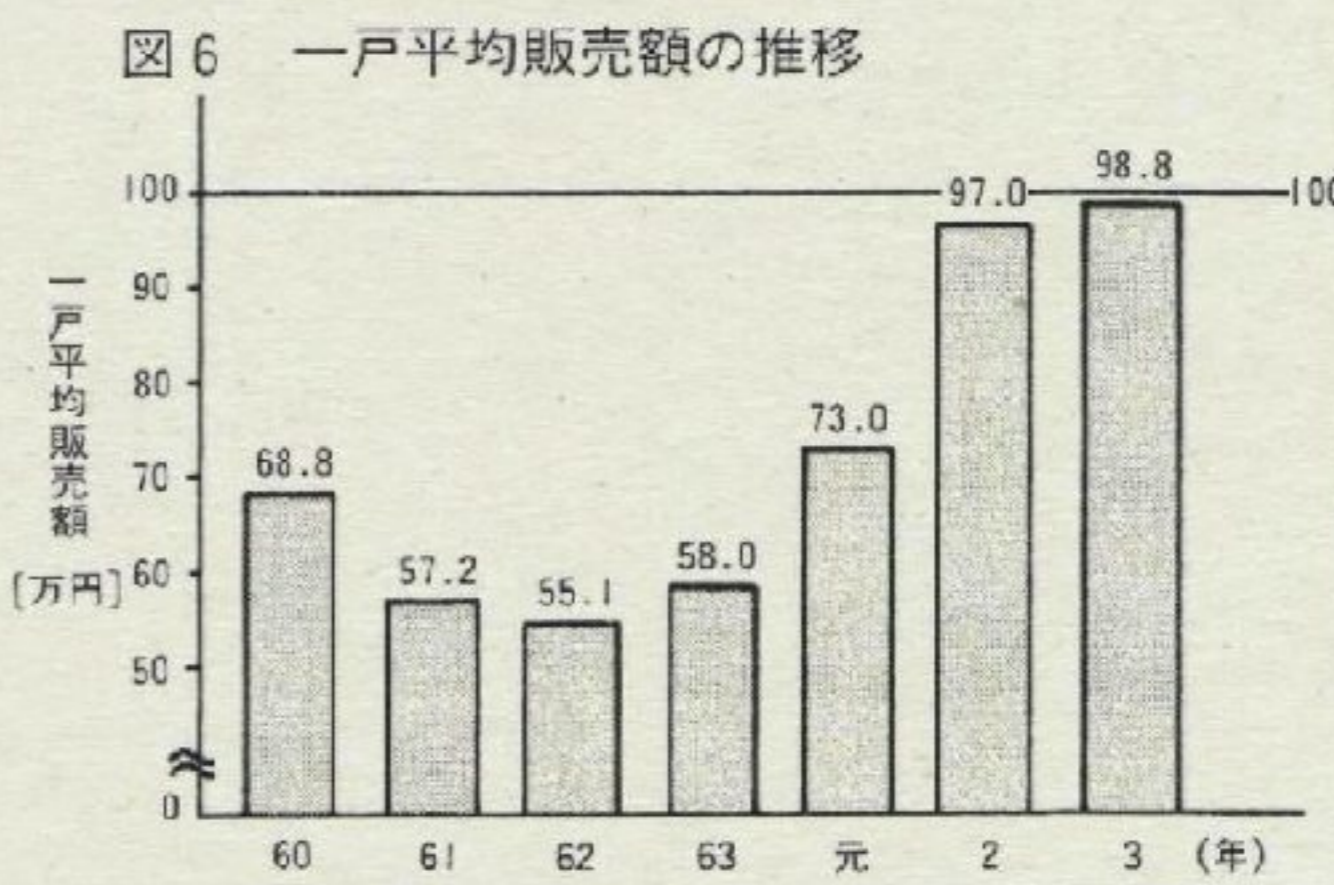
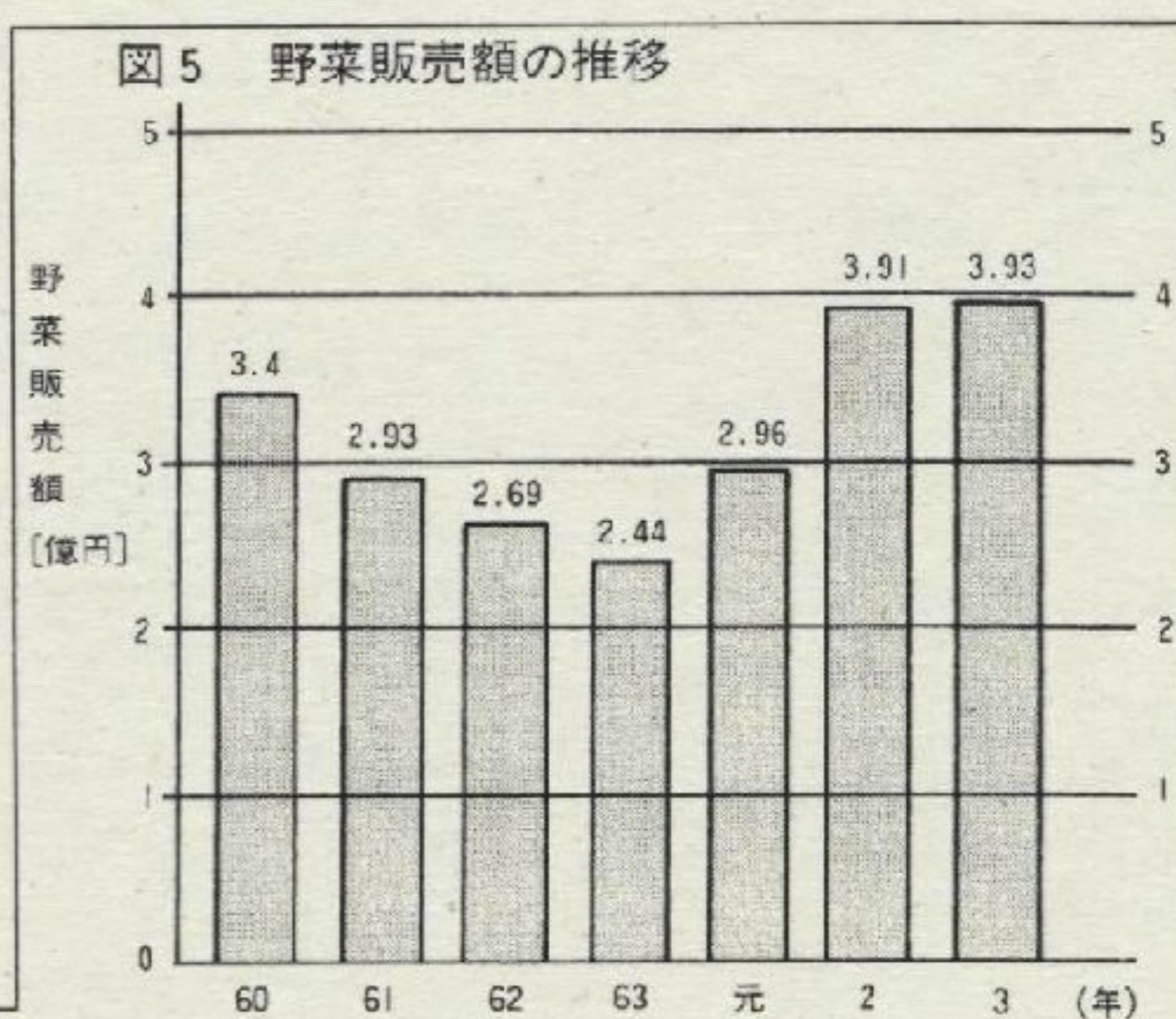
悪い気象条件 でも4億販売

九戸村農業協同組合（佐々木利夫組合長、組合員数千二百二十一人）

の平成三年の野菜販売額は、夏の低温、日照不足、九月の台風19号による被害にもかかわらず過去最高だった平成二年を二百万円上回る三億九千三百万円となり、天候

不順にも強い安定した生産が行われませんでした（図5参照）。

平成三年を振り返ると、決して順調な天候で経過したわけではありませんでした。三月下旬には遅い雪が降り、ニンジンの種まきが遅れ、五月中旬には強風が吹き荒れ発芽直後のニンジン、ゴボウと定植されたレタス、収穫中のグリーンアスパラガスが大きな被害を受けました。

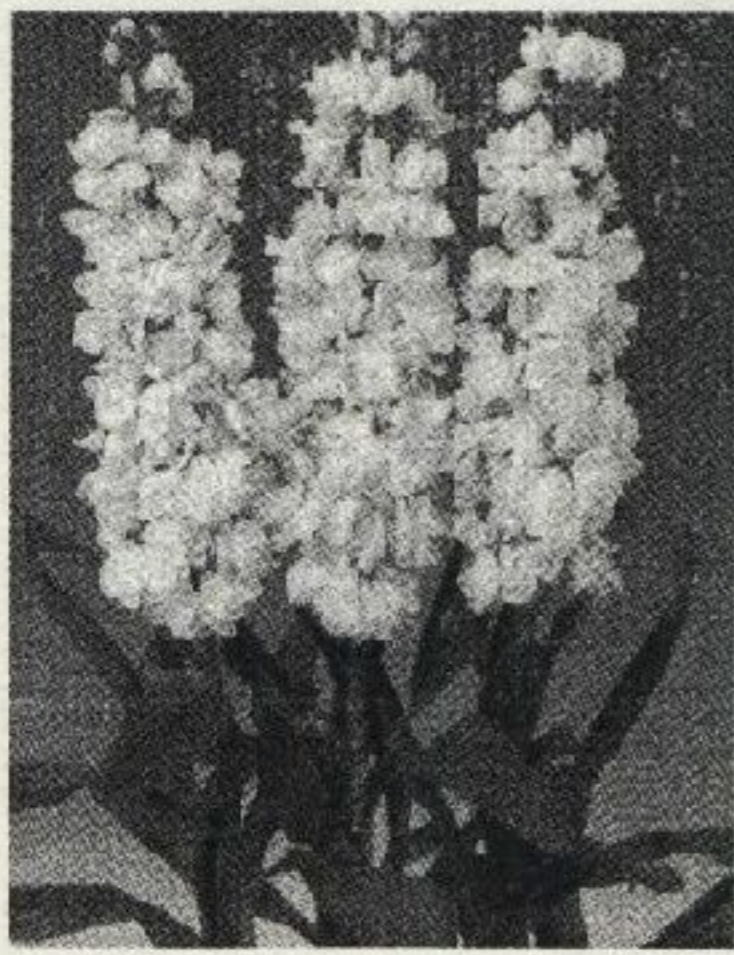


良いものをつくるには研修が大事

また、梅雨入りしてからは、低温・日照不足が続く、枝豆、スイートコーンが減収となり、追い打ちをか

けるように九月下旬には、台風19号が通過し施設野菜が大きな打撃を受けました。例年であれば、枝豆が半作となり販売額が落ち込めば、野菜全体の販売額も落ちてしまいますが、昨年は販売額を伸ばしており、これまで





●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！



にない画期的な成果を上げています。

販売額1千万 超す農家出現

このような状況下で、どうして販売額を伸ばすことができたのでしょうか。

それは、ひとえに野菜の生産技術の向上と天候に左右されない品目の拡大、そして九戸産野菜に対する市場の高い評価、ひいては生産者自らの努力によるものと言つてよいでしょう。

天候に左右されず生産を上げる技術は、例えばパイプハウスを利用した施設栽培の導入です。

これは雨をよけることで、品質の向上が図られると同時に、低温下でも安定した生産ができます。

また、風害にも強い栽培技術の例としては「べたがけ」栽培があります。五月中旬の大風にも耐えたのが、この技術で専用の資材を作物に直がけするだけで保温力、耐風力を増すことができます。

天候に左右されにくい品目としては、施設野菜、べたがけ栽培を行う根菜類があげられ、それらが定着、拡大してきています。

次に市場からの評価が高まったことですが、平成三年は特に品質

の向上が目立ったと言われています。

す。肌の良い大根、農協の選果により品質が均一化したトマトなど新しい品目が、従来から高い評価を得ていた枝豆、ニンジン、ホウレンソウに加わり、品質の良い野菜の種類が多くなりました。いわゆる「力のある産地」へと変化し始めたことによるものです。

全体の販売額だけが過去最高だったわけではありません。

平成三年は、野菜生産者の一戸当たり平均販売額と十戸当たり平均販売額も過去最高を記録しました。さらに、野菜だけで一千万円以

上の向上が目立ったと言われています。肌の良い大根、農協の選果により品質が均一化したトマトなど新しい品目が、従来から高い評価を得ていた枝豆、ニンジン、ホウレンソウに加わり、品質の良い野菜の種類が多くなりました。いわゆる「力のある産地」へと変化し始めたことによるものです。全体の販売額だけが過去最高だったわけではありません。平成三年は、野菜生産者の一戸当たり平均販売額と十戸当たり平均販売額も過去最高を記録しました。さらに、野菜だけで一千万円以

上販売する農家も現われるなど記録づくめの一年でした(図6・7参照)。

今、野菜作り がおもしろい

野菜は消費者にとって、どのような位置づけにあるのでしょうか。野菜はカロリーが少なく、ビタミンやミネラル、そして食物繊維を豊富に含むことから、健康の維持・増進に不可欠な食物とされ、厚生省の食生活指針や農林水産省の日本型食生活の新しい指針でも、成人病予防や栄養バランス維持の点から、高く評価されています。

また、日本の人口は〇・七割

割合で年々増加していくと同時に、西暦二千年には六十五歳以上の割合が一六％にも達し、約六人に一人が六十五歳以上になると予想されており、今後ますます健康や栄養への関心が高まると考えられます。

一方、全国の野菜販売農家数は昭和六十年から平成二年の五年間で一六％も減少しており、中でも関東近郊は著しく減少しています。これに伴い野菜の単価も平成元年以降全体的に上昇してきています。

従って、これからの野菜づくりは、生産拡大を進めることで、相

当に有利な展開ができると予想されており、「今、野菜づくりがおもしろい」と言われています。

にんじん

ビタミンAをはじめ、栄養いっぱい。美しい色あいは、食卓の彩としても重宝。



ほうれんそう

病人や赤ちゃんにも最適、栄養豊富な緑黄色野菜の王様。



えだまめ

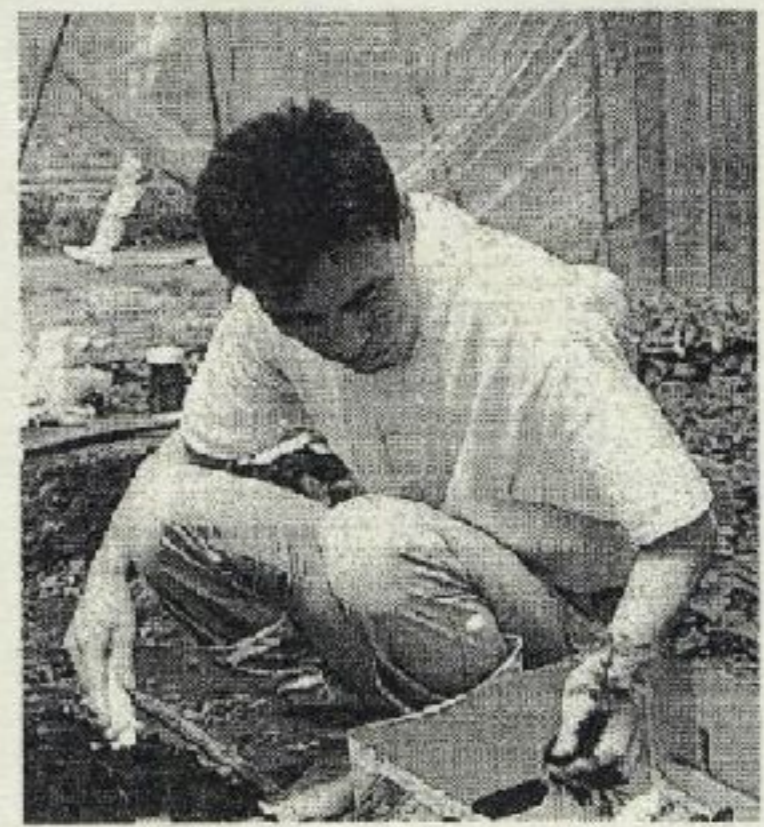
高たんぱく、ビタミンも豊富。いろいろな料理に利用したい優良食品。



トマト

鮮やかな色とおいしさ、栄養もたっぷり。人気、実力ともにトップクラスの優等生。





村の野菜

市場で高い評価

前の章では平成三年の野菜販売額が約四億円となり、過去最高を記録したことやその原因について見てきました。高級品志向の強い現在、さらに販売額を伸ばすためには、品質の向上と安定した出荷ができるようにならなければなりません。この章では村の野菜の中心作物として期待されるトマトなど七種類の野菜の特徴や有利性、そして栽培上のコツなどを紹介します。

品質と出荷量の安定が大切

高級品志向の高い現在では「良

いものは、いくらでも欲しいが、悪いものは「いらぬ」といわれるように、やはりある程度の品質の良さが必要です。

また、良品質のものでも、ある時はたくさん出て、ある時は少ししか出ない

というのも、買う側の信頼を失うことになります。

市場では花も野菜も大評判



販売額を伸ばすには、安定した生産と出荷が大切な条件となります。安定した生産と出荷をするためには、村内でとれる良いもので、安定した生産が行えるものが良いということになります。

平成三年の村の野菜売り上げベスト10は、一位スイートコーン、二位ピーマン、三位枝豆、四位トマト、五位ミニトマト、六位グリーンアスパラガス、七位大根、八位ニンジン、九位ホウレンソウ、十位サヤエンドウ、となっています。これらの野菜は、いずれも一千万円以上の販売額となっており、今後も村の野菜栽培の中心として期待の高い品目です。

生産者もこれらを中心に、畑の条件や規模、労働力を考え、売り

改良普及所・九戸駐在事務所長 吉田忠治さん



なぜ、今、野菜なのか

野菜は体調維持に欠かせないアルカリ食品で、ビタミンA、Cや無機塩類などを供給しています。また多く含まれている繊維質には整腸作用があり、健康管理上なくてはならない食べ物で、今後も市場の拡大が期待できます。

本村の野菜は畑地かんがい施設などの施設整備や気象条件にあった品目の作付け、栽培技術の向上、そして生産者の努力によって、市場や消費者から「品質が良く安心して食べられる野菜」と高い評価を得ており「もっとたくさんほしい」と生産拡大が望まれています。

上げを伸ばしています。

その中でも村の重点野菜とされているのが、施設利用型ではトマト、ミニトマト、ホウレンソウ、土地利用型としてはニンジンです。

ホウレンソウ 安定度は1番

それぞれの品目の特徴と有利点をあげてみます。

○トマト

村の野菜の中で最も反収が高く、価格の安定度、消費の伸びからも有利性のある野菜です。

また、七月から十一月までの長期出荷が可能で、十ヶ月以上の作付けでまとまった収益を上げることが出来ます。生産面を支援するため農協では、平成三年から生産物の選果を行っています。

○ミニトマト

トマトに次ぐ高収益野菜で、トマトよりも病気に強く作りやすいことが特徴です。これもトマト同様消費の伸びが期待でき八月を除けば価格面からも有利な品目です。生産者の努力で収量を上げることに課題とされていますが、トマト並みの反収を上げれば、トマト以上の販売額を見込むことも可能です。また選果についてもトマト同様農協が行っています。

○ホウレンソウ

価格の安定度が一番良い野菜です。年々単価が上昇し、昨年は一東平均で百八十四円まで上がりました。所得率が高いため雇用労働力を入れても経営は成り立ちます。九戸ものであれば、今の村の野菜作付面積すべてがホウレンソウ

●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！



病気に強く高収益を期待できるミニトマト

になったとしても、価格は下がらないと言われています。大規模化するためには、間引きを省力化する種まき機の導入が必要です。

また、四十人程度の規模で雇員を三人から五人導入すれば、一千万円以上の販売も可能と試算されています。

○ニンジン

冷害に強い根菜類で「九戸もの」として品質の良さが消費者に認め

られ、他産地より高く販売できる野菜です。近年は「べたがけ」栽培の導入で、気象災害に強い栽培技術が確立しました。

また、価格安定制度により、相場の悪いときは、価格補償が受けられます。

大根、ネギと

ゴボウが有望

この外に、有望なものとして大

根、ゴボウ、ネギがあげられます。

大根は栽培品種や栽培技術が改善され、品質の良いものが村内でも生産できるようになりました。そのおかげで販売額も伸びています。また四月下旬から種まきを始め、八月上旬まで、春は十日おき、夏は五日おきにまくと、六月下旬から十月いっぱいまでの長期収穫が可能です。

九戸村の野菜販売は、七月から九月までがピークで、十月になれば売れるものがなくなると言われます。そこで力を発揮するのが、ゴボウとネギ（秋冬ネギ）です。

ゴボウは春に種まきを行い、収穫は十月から十二月に行う比較的手のかからない野菜です。一番忙しいとされている収穫も、農協の掘取機を使って行い、調整作業も気温の低い時期にしますので大きくなることもなく、ゆっくりと行うことができます。ただし、土の深さは八十センチから一メートルで栽培地域は限定されます。

土が比較的浅い所では、ネギが有効です。春種をまき、秋冬に出す作型を取り入れると、ゴボウと同様夏野菜の後に収穫することができます。

ネギはめん類、なべ物、焼き鳥の材料に使われるなど、用途が豊富で安定した需要に支えられています。

る野菜とされています。場所を変えて栽培することで、畑作でも恐れられている連作障害が、他の作物に起きないようにすることができるところから、土地の利用上も有効な野菜と考えられています。

平成四年は村内二カ所で試験栽培が行われる予定で、一般の生産者への導入は試験結果を見てからということ、平成五年以降を計画しています。

野菜売り上げ 5億円目指す

平成四年度の野菜生産は、次のことを基本に進めます。

- ①収益性の高い品目を積極的に取り入れる
- ②中核農家の育成を強化する
- ③天候に負けない生産体制をつくりあげる
- ④長期継続出荷のために、秋冬野菜を拡大する
- ⑤地域ごとにまとまった野菜づくりを進める
- ⑥共同育苗、共同選果体制など生産者の支援体制を強化する
- ⑦消費地と結びついた生産を行う
- ⑧パイプハウスの一〇〇％共済加入を進める

昨年は約四億円の販売額を記録しましたが、当面、五億円以上の販売を目標に拡大を図っていきます。



生産性が

高い農業を展開

農業を考える特集の最後の章です。これまで、村の産業が農業であること、その農業の振興を図るため農家の大部分を占める耕種農家に野菜づくりを勧め、平成三年には約四億円販売したこと、そしてこれから期待される品目などを見てきました。この章では、野菜とともに近年需要が拡大し、高収入が見込まれる花き栽培について紹介します。

10アール当たりの販売額95万円

九戸村の花き栽培の中心品目にしようと、村で力を入れているのはリンドウですが、その九戸産リンドウが平成三年に初めて出荷されました。

その実績は出荷本数で二十二万本、金額で八百十三万円、十アール当たり平均販売額は約九十五万円と、初年度としては好スタートを切りました。

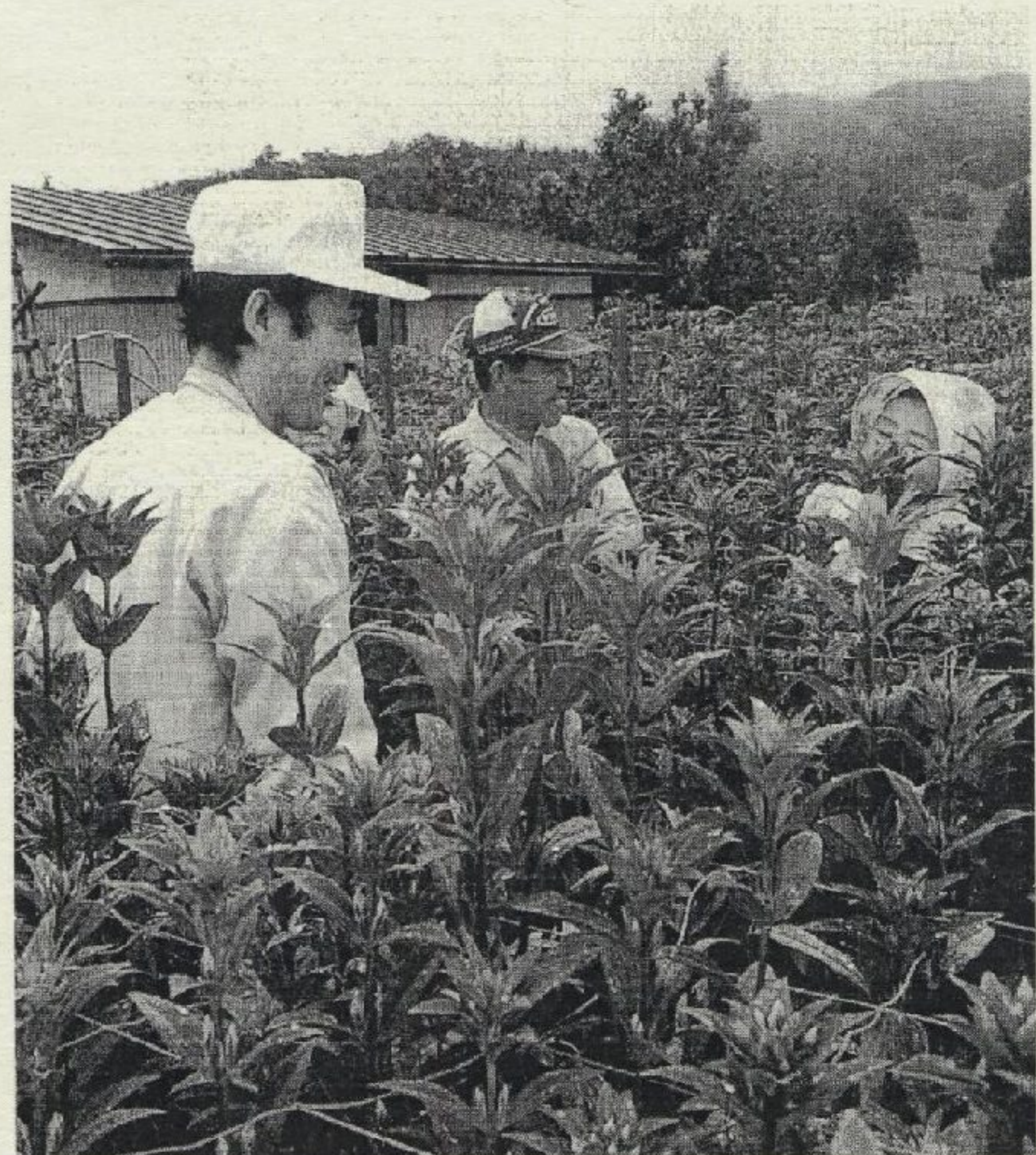
平成元年度から苗づくりが始まり、三年目にして文字通り「産地」として開花したことになります。リンドウも晩生種が台風19号の被害を受けましたが、それでもこのような実績を取めたことは将来的

にとっても明るい材料になりました。もともとリンドウは夏冷涼な気象を好むものですから、九戸村の気象にも合っていますし、需要面でもお盆や彼岸の時期を中心に、アレンジメントなどにもよく使われるようになり、有望な品目とされています。適地は水田の後地で、当村では二・四畝の水田転作地へ作付けされました。

その外には小菊、宿根スターチス、孔雀アスターなどの花も試験栽培・販売が行われ、四年以降は、小菊を中心に畑への作付け拡大を行う計画です。

花きの将来は 大変に明るい

現在は「物の豊かさから心の豊



リンドウ収穫の講習を受ける栽培者

かさへ」と言われるように、花もライフスタイルに欠かすことのできない新しい文化（モノ）として注目を集めはじめています。特に最近は一月に正月、成人式、二月はバレンタインデーのように「コト」があるたびに花が用いられるようになりました。三百六十五日が記念日化した今では、年々需要が伸びており、十分に将来性をもった作目と言えます。

リンドウ販売 1億円目指す

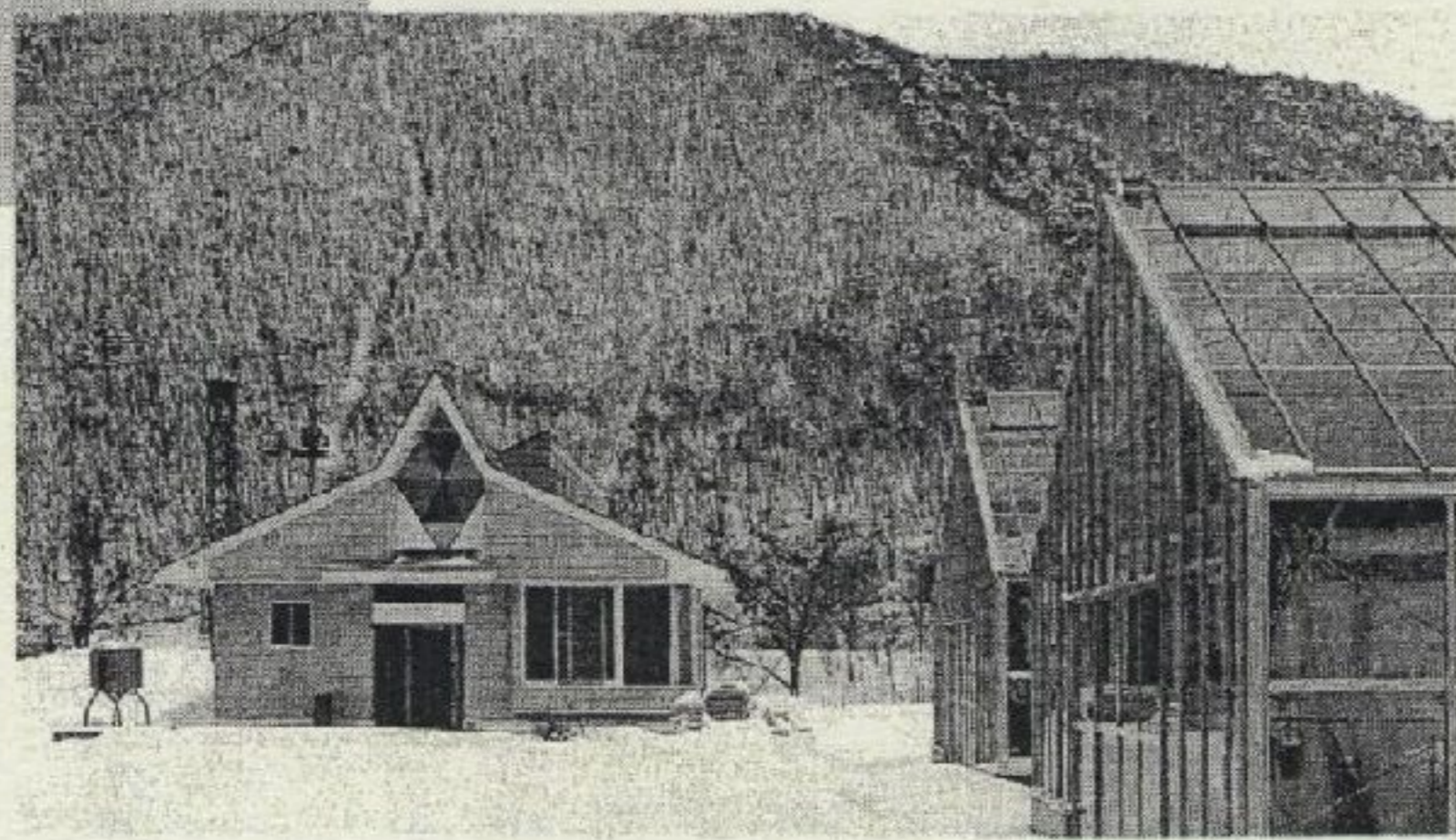
花きは野菜に次ぐ園芸作物として注目されており、一億円以上の

販売額を目指しています。そのために村と農協は、リンドウと小菊を組み合わせて、長期的に出荷できる産地にしていきたいと考えています。

また、将来にわたる息の長い花き産地の育成と花いっぱい村づくりを進めるため、九戸村農協では戸田地区に「花きセンター」を建設しました。

「花きセンター」は、木造平屋建て、百十六平方メートルの管理棟や鉄骨造りで全面をガラスで覆った百五十平方メートルの育苗施設二棟、ポイラー施設などが整備されており、総事業費は三千八百万円で九割が

花栽培の中心基地 花きセンター



●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！



二戸地方振興局長から表彰された泥の木生活改善グループ

国、県、村の補助です。苗を安く安定供給するため、育苗施設内は外気温が氷点下一四度でも、二五度に維持できる設計で通年利用できます。四年度からリンドウを中心に、ポインセチア、パンジー、ポタン、小菊などを育苗する計画で、この外にも研修、生産啓蒙、新品目や生産技術の実証・開発に取り組みなど、村の花き栽培の中心として活用されることが期待されます。

花いっぱい運動を村も支援

村では花を農業振興だけでなく、村づくりにも有効に利用する考えで、集落環境整備事業という新規の事業を行います。この事業は、村民憲章実践区の

環境美化運動を推進するため、一実践区十万円を限度に花壇づくりなど住民の花いっぱい運動を支援するものです。

村にはこれまでも、花いっぱい運動を十年以上も展開し、花の苗を教育機関などへ配布している村農村青年クラブや長さ百十五メートルの目を楽しませ二戸地方振興局長から表彰された泥の木生活改善グループなど、いろいろな団体や地区が花のある環境、美しい村づくりを実践してきましたが、今度はこの事業を契機に全村的に花いっぱい運動を展開するなかで、農家の花き栽培の機運を盛り上げていきたいという考えです。これによって花咲く村づくりが

進み、「花と緑の九戸村」が村内外に定着し、村のイメージアップにもつながります。

野菜、花きは農業を活性化

本村の野菜は、本格的な出荷が行われてから、二十年以上の歴史を重ねて、今、まさに大きく飛躍しようとしています。そして新たに花きの生産が開始され、村の農業が一層充実してきています。この九戸村の立地条件を十分に生かした生産性の高い農業の展開が着実に進みつつあります。

以上、「野菜、花きは農業を豊かにできるか」をテーマに、これまで農業の現状と問題点、野菜・花き生産の状況、有利性などを見て

きました。答えはイエスです。本村の農業は基幹産業に位置づけられるものの、その地位は年々低下してきています。それでも就業人口の四八・五％が農業に従事している現状と他産業への波及効果を考えれば、農業を振興することは、産業全体の振興を図るうえからも大きな意味があります。

農業の振興を図るとき、農業粗生産額の八三・八％を占める畜産の振興は、もちろんですが、米、たばこ、野菜の生産を柱とする耕種農家が全農家の七五・二％を占めていることを考えると、耕種農家の生産額を上げることが農業全体のレベルアップにつながります。耕種農家は米を中心にタバコや野菜を栽培していますが、この構図を基調にして農家の労働条件、土地条件に弾力的に組み込みやすく、収益性の高い作物として、野菜や花きが導入され、栽培が奨励されてきました。

他の産地で生産者が減少していること、需要が伸びていること、そして生産者の努力によって品質の良いものが出荷され市場から高い評価を得ていることから、九戸村の野菜や花きは高値で取り引きされており、多くの農家にとって大きな力となる魅力ある作物であると言えるのではないのでしょうか。



ドライバーの目を楽しませた泥の木地区の大花壇



農家

良いもの生産します



生産量増やすことが課題

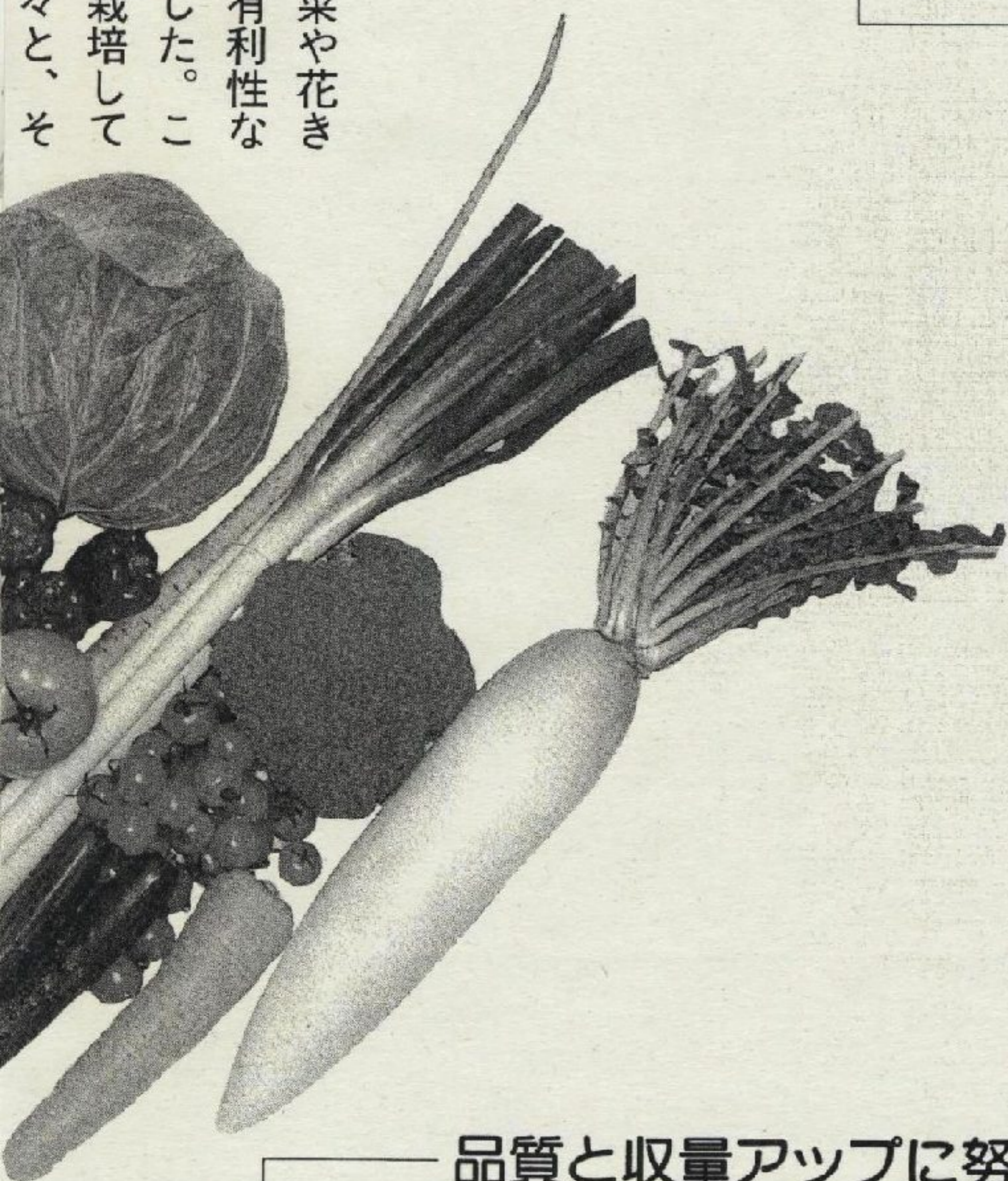
トマト



上村 勇さん
(山根・53歳)

トマトは昭和五十一年に露地物を十竹作付けたのが始まりで、品質の向上と作業の軽減を図るため、現在雨よけトマトを六百坪栽培しています。トマトは九戸の気象にもあった収益性の高い作物ですし、市場から「もっと量がほしい」と言われており、生産農家の拡大が課題となっています。品質の均一化のため選果機がもう一台必要だと思います。

これまで野菜や花きの生産状況や有利性などを見てきました。ここでは実際に栽培している農家の方々と、そ



リンドウ



日野澤トスさん
(戸田下・49歳)

今後の品質管理が重要に

リンドウを植え付けたのは昭和五十三年で、翌年から出荷し現在の面積は二十畝です。一度植え付けると七、八年はもちます。九月に出荷が始まり二週間ほどで終わります。

九戸産として出荷が始まったばかりですので、良品なものを出荷し市場の高い評価を得ることが大切です。農薬の散布、間引き、水上げなど愛情のこもった管理が必要。

品質と収量アップに努力

ニンジン



林 武夫さん
(山屋・44歳)

ニンジンを始めてから、三年くらいになります。現在の面積は三十五畝です。私はニンジンだけでなく、米を中心に大根、アスパラガスなどを取り入れ、労働力を平準化しています。品種を変えたことや、きれいに洗浄できるようになったことで市場の評価も上がり、これから期待できる作物です。品質と収量アップに努めます。

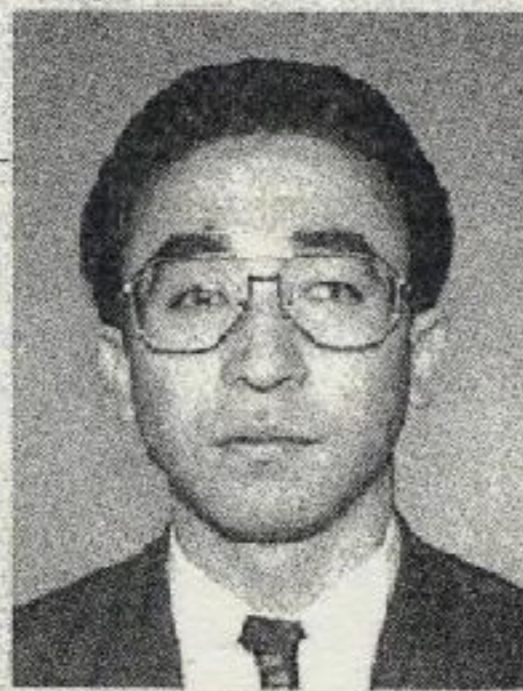


●特集／野菜・花きは農業を豊かにできるか！

市場 私たちも応援します



れを取り扱っている市場の方の声を聞いて、これからの取り組みの参考にしていただければと思います。



立波裕之主任
(横浜丸中青果(株) 九戸村山屋出身)

市場から

最近の野菜の生産・流通をめぐる情勢として、供給量の減少、輸送難、産地間競争の国際化、新しい取り引き方法の模索、スーパーなど量販店などの需要増、規格簡素化への

柱になる野菜がぜひ必要

取り組みなどがあげられます。昨年は天候不順や台風で被害を受けましたが、九戸村農協全体のキ当たりの販売単価が二百四十五円となり、二年の二百二十九円を十六円上回りました。近い将来はキ当たり単価が三百円の時代も夢ではないと思っています。

何が良くて何が悪いという品目はありません。しかし何が主力品目なのかはつきりしません。九戸産野菜は我々の市場でも年々評価が上がっており、お客様からの要請も増えてきていますが、主産地九戸村という名の元に売れる野菜がほしいと思います。

傾向はありませんし、輸入野菜にまったく影響されない夏秋野菜は、むしろ上がる傾向にあります。最後に我々市場としても最大限の努力をして九戸村と、農家の人たちの発展のために貢献したいと思っています。「今後が期待できる九戸村の野菜」となるよう、関係者一同の努力を期待します。

ゴボウが1番の収入源に



林 文雄さん
(山屋・48歳)

ゴボウ

ゴボウは昭和六十三年に十町作付けたのが始まりで、現在の面積は三十町です。始めたキツカケは、大根に連作障害が出たので、何か別な作物を作りながら、土を回復させたいと考えたからです。今ではゴボウが一番の収入になっています。作業も農協が掘取機を貸してくれるので、大変楽になりました。

1

村社会福祉大会で、 安心して暮らせる村づくり宣言。



とてもたのしい講演でした

平成三年度の村社会福祉大会は、二月十九日村公民館で行われ、関係者約二百五十人が集まり、福祉の充実に努めることを誓いました。この大会は「心ふれあい共に支えあう村を目指して」をテーマに開催されたもので、社会福祉事業功労者の表彰や講演、意見発表などが行われました。

講演は「明るく住み良い村づくり」と題して大里正二戸地方振興局長が、意見発表を伊保内小の工藤健三先生と、戸田照美さん（三年）、小野さくらさん（六年）、桂川文恵さん（同）が行いました。そして最後に「生きがいを持ち、健康で安心して暮らせる地域社会をつくるため、積極的に取り組む」ことを宣言し閉会しました。



社会福祉事業功労者が表彰されました



3人の児童が体験発表

2

多くの提言が出た、 田代・柿ノ木地区の村政懇談会。



活発に提言が行われました

村が主催する第二回目の村政懇談会「皆さんの提言を聴く会」は、二月十六日田代生活改善センターを会場に行われ、田代、柿ノ木地区の住民二十五人が集まり、自然開発などについて活発な提言が行われました。この懇談会は直接住民から意見・提言を聴き村政に反映させようとしたもので、村からは村長をはじめ各課長ら十三人が出席。折爪山麓自然休養村や老人福祉について住民の意見・提言を聴きました。

3

「飲酒運転しない」、 村民の誓約書二戸警察署に提出。



誓約書を手渡す大久保信
二戸安全協会九戸支部長

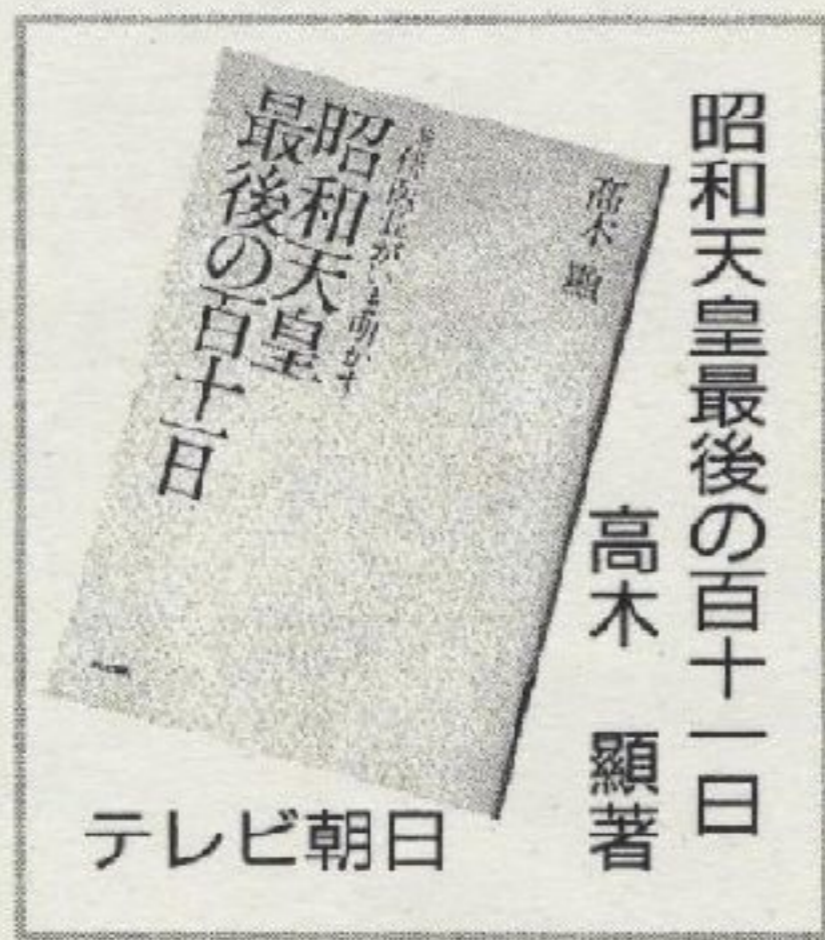
村交通安全対策協議会は、二月十四日村民二千六百二人が署名した「飲酒運転絶滅誓約書」を二戸警察署長に提出し、村から飲酒運転をなくすことを誓いました。これは同協議会が年末年始の交通安全県民運動の一環として取り組んでいたものです。①飲んだら運転しない②運転するなら飲まない③飲んだ人には運転させない④運転する人にはすすめない—以上4点、念のためにもう一度確認を。

前岩手県知事の中村直さんの回顧録。前知事の生いたちから青春時代、県庁時代、代議士時代、知事時代、折々の人々、と続く記録は半世紀に及ぶ県政の歴史を知るばかりでなく、私たちに大きな示唆を与えてくれる。



温故知新
宮澤徳雄著
岩手日報社

昭和天皇にお仕えしたのは都合六年余り。昭和六十三年九月十九日の大量吐血から崩御に到る最後の「百十一日間」は、文字どおりあつという間に過ぎ去った感じがします。(結びにかえてより)



昭和天皇最後の百十一日
高木 顕著
テレビ朝日

「緋い記憶」他六編が載っている。「緋い記憶」は本年度の木賞受賞作品で、記憶というものの不思議さをテーマにした作品である。著者は盛岡市に生まれ、現在も盛岡市に住んで作家活動を続けている。



緋い記憶
高橋克彦著
文芸春秋

女性ライダーのリーダー的存在として活躍した三好礼子が世界中のライダーが出場を夢みるラリー(パリ・ダカール)に挑み、破れた。でも後悔はない。別れ、出会い、恋、そして旅。明日に向かってアクセルを開く。



恋とこころ 旅とこころ
山村礼子著
昌文社

4

民謡民舞ショーで、芸術と伝統文化を楽しみました。



素晴らしい芸に拍手が続きました

日本民謡協会岩手県連合会九戸支部(野辺地善之助会長)主催の「民謡民舞チャリティーショー」は、二月二日村公民館で行われ、この日を楽しみに待った約八百人の観衆で会場はパンク寸前の超満員。
ショーには県内十六の支部から優れた民謡民舞の担い手たちが集まり、三十六の歌や踊りを披露。観客はその素晴らしい感動し、心の原点である伝統文化をたんのうしました。
この日寄せられた浄財二十万円は、社会福祉協議会へ寄託されました。

5

体験発表や講演で、健康づくりの知識を深めました。



4人の体験発表が行われました

第八回村健康づくり推進のつどい(実行委員長・伊保内昭一村長)は、二月一日村公民館で行われ、約四百人の参加者が体験発表や特別講演、展示などを通して、健康づくりのための知識と自覚を深めました。
この日「私の生きかた」と題して特別講演をした中居京子八戸赤十字病院看護部長は、村の社会福祉にと、講師謝礼で折爪荘に車イスをプレゼント。お年寄りたちは、この温かい贈り物に喜び感謝し、大切に利用しています。

九戸村長選挙立候補予定者説明会

- とき 平成4年3月24日午後2時
- ところ 九戸村役場第2会議室

がんばった 人にマール

正人さん(九戸中二年・スケート)、
触澤英之くん(戸田小五年・同)を紹介します。

県代表になりたい

荒田正人さんは、昨年の十二月十四日県営スケート場で行われた第二十四回県中学校スケート大会の男子五百級と千級に出場し、共に二位という素晴らしい成績を上げました。



荒田正人さん

「努力の成果が表われて、すごくうれしい」と笑顔。スケートは長興寺小二年の時、手作りリンクで練習したのが始めて、本格的には中学一年から。

昨年十二月二十九日から秋田市で行われた東北大会の千級で六位に入賞し、二月三日軽井沢での全国大会にも出場しました。最後に「もっと練習を重ねて県を代表するような選手になりたい」と抱負を力強く話してく

アルペールビルオリンピックでの日本人の大活躍やスキー場の整備などで、ウィンタースポーツも人気を集めています。今月はウィンタースポーツの各種大会で活躍した選手三人、荒田正人さん、滝泰知さん(同・スキー)、触澤英之くん(同・スキー)を紹介します。

ウィンタースポーツで 大活躍した村の3選手

れました。

県中大会で上位を

滝泰知さんは二月十六日、田山スキー場で行われた第十四回県スポーツ少年団スキー大会に出場し、中学校男子の部で五位に入賞しました。



滝泰知さん

その時の感想を聞くと「失敗もなく、うまく滑れたので良かったと思います」とハイレベルな大会で入賞に満足げ。スキーは小学校一年から始め、四年生と五年生の時に「ヤマハ東北大会」に出場しています。

くのヘジュニアスキーに所属しており、「これからも大会があるので、入賞できるように頑張りたい。そして来シーズンは三年生なので県中学校大会で上位入賞したい」と、一生懸命に練習に励んでいます。

目標は県内で一番

触澤英之くんは、二月九日網張スキー場で開催された第十三



触澤英之くん

回県ジュニアアルペンスキー大会に出場し、小学校男子五年生の部で五位に入賞。その後二月二十三日、猪苗代スキー場で行われた東北大会に県代表として出場し十一位となっています。現在の心境を聞いてみると、「二年連続して東北大会に出場できてうれしい」と元気に話します。

スキーは三歳ごろから始めたそうで、現在は、くのヘジュニアスキーに所属しており、「県で一番になれるように頑張りたい」と、大きな目標をしっかりと見すえ、技術のレベルアップに取り組んでいます。

今月の顔 18

九戸村農協青年部の部長
坂本豊彦さん(道地・38歳)を紹介します。



村農協青年部は部員相互の連絡提携により、農協の実践活動に協力し、部員の教養を

語り合い、魅力ある農業を模索

策を披露。

最後に「農業をとりまく環境は米の自由化など、とても厳しい状況にあります。部員とともに農業を語り合い、新しい農業、魅力ある農業を目指して頑張ります」と農業に取り組む決意をキツパリ。

会を開いたくらいです」とちよつぱり残念そうに話します。「活動上の問題は、やはり何の集まりでも同じだと思いますが、人が集まらないのが一番の悩みです」と活動の活性化を図るために、同じ悩みをもつ農業青年が集まり、協力し合うことが大切と強調。

「農業は3Kとはいかないまでも、きつい、きたないなど若者たちにとって良いイメージとはなっていないかもしれません。これを克服するためには、農業の生産性を高め、家畜ヘルパーなどで労働時間を軽減したり、花き栽培を導入してきたないというイメージを払しょくした農業に取り組んでいくことが大切」と農業振興

みなさんが作るページです

若いもんの 広場

18



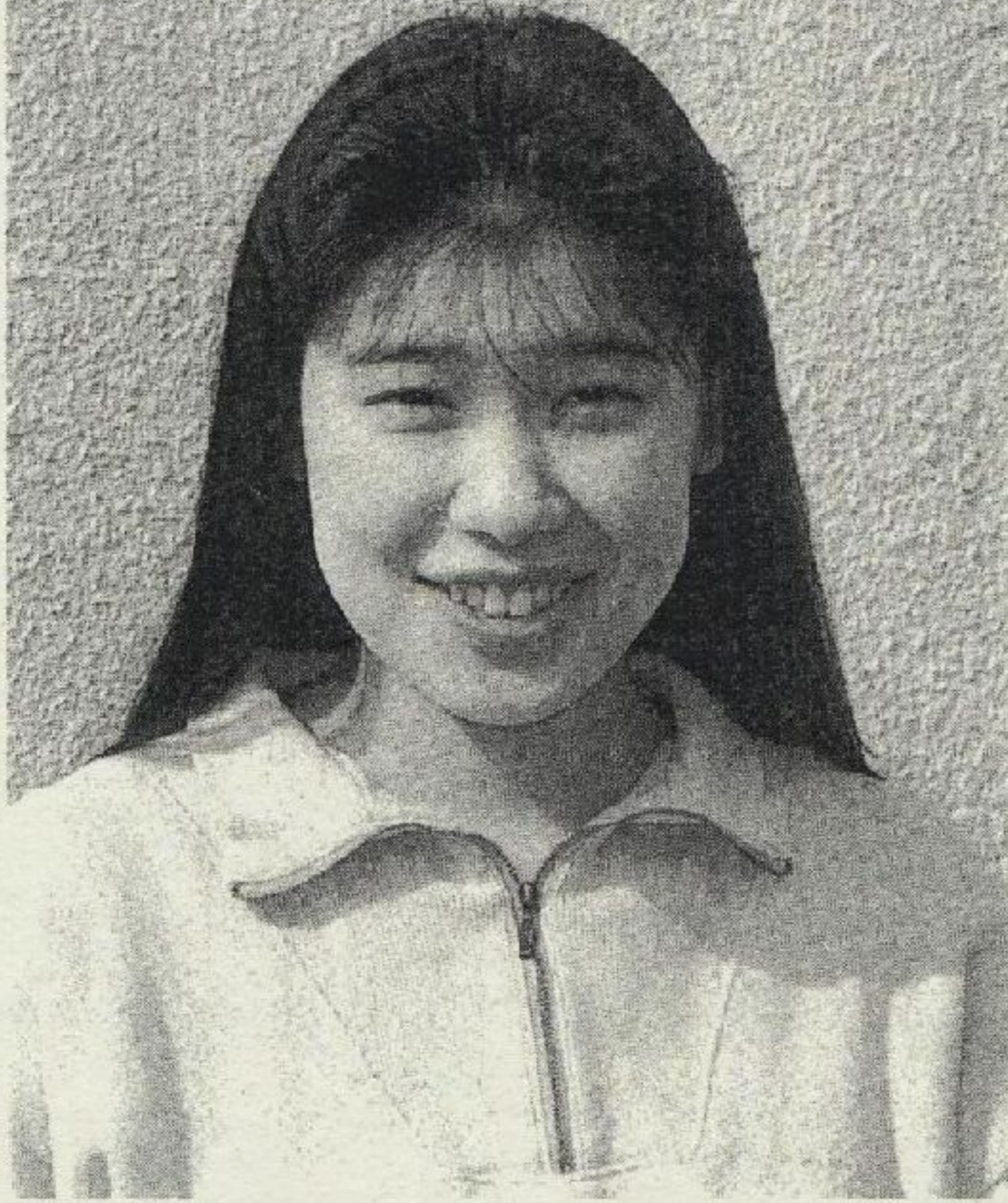
今回は軽米町にある(有)ベルアパレルにお勤めの松坂美加子さん(南田・20歳)を紹介します。

元気でおしゃべりです

—学校卒業後の足どりは、伊保内高校を卒業後、埼玉県にある某有名ストアーに一

います。

—職場で心掛けていることは、この仕事についてまだ半年



インタビュー

年半勤めUターン。昨年の九月から今の会社に。—担当しているのは、ヘンプ(洗濯表示などがついていた布)を洋服に縫いつけて

なので、間違わないように、毎日真剣に取り組んでいます。—今の仕事についての理由。女性のためなみとして裁縫を身につけたいと考えたので。

—休みの日は何をしていますか。午前中はゴロゴロ寝ていて、午後から食事や買い物に出かけることが多いです。(笑い)
—今してみたいことは。デイズニールワールドに行く、それが小さい時からの夢です。
—趣味、特技は。バスケットボールが大好きです(実力はありません)。後には人並みよりちよつとランクが落ちるカラオケ。(笑い)
—理想の男性と結婚は。好きになった人が理想の男性です。その人と結婚します。
—将来のあなたは。平凡なおかあちゃんになっていると思う。
—自己分析してください。万事がすべてこのとおり、スローテンポです。(笑い)
—これから村に期待するもの。美しい、明るい、楽しいなど良いイメージをいだかせるような地域づくり。
—最後にあなたのPR。明るく元気でおしゃべりです。(笑い)
—次号はどなたを紹介してください。宇堂口の山下ひとみさん。

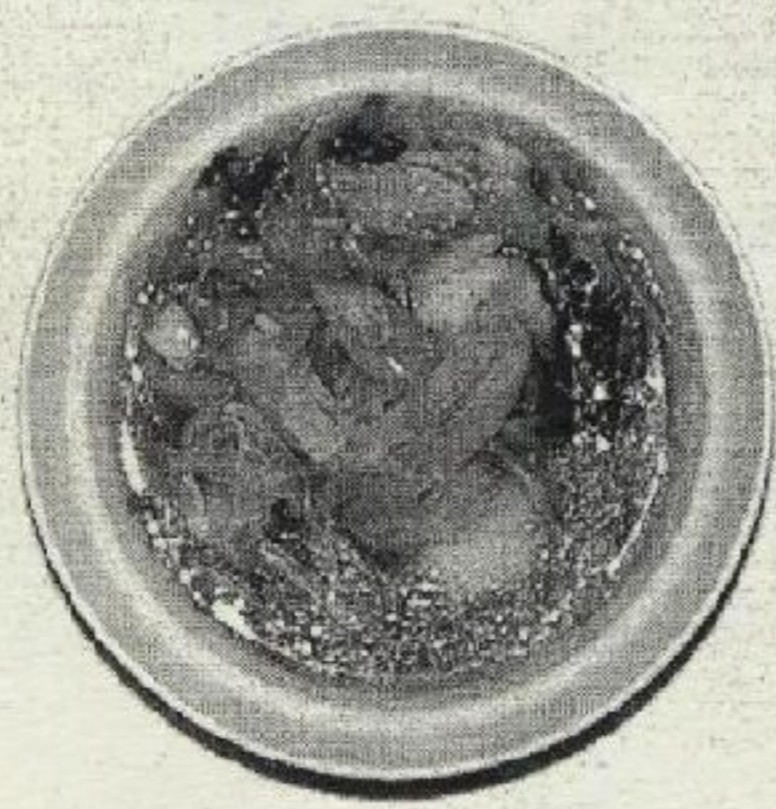
ワンポイント クッキング



村栄養士

「だまっこ汁」

成人病予防の重要なポイントの一つはバランスのとれた食生活を送ること。それには一日三十食品をとることがすすめられています。たとえば、たろ三十食品以上でも食品の種類に偏りがあれば栄養素はみだされません。できるだけ手作りで、主食、主菜、副菜をそろえて食べましょう。今回は実だくさんの汁物で秋の郷土料理です。だまっこ汁は、「お手玉」のことです。(作り方)



材料 (5人分)

(だまっこ)
 ごはん…2カップ 糸こんにゃく…1袋
 小麦粉…大さじ1 鶏もも肉…200グラム
 カタクリ粉…大さじ1 ゴボウ…150グラム
 だし汁…5カップ ニンジン…150グラム
 酒…大さじ2 シメジ…50グラム
 しょうゆ…大さじ2 ネギ…1本
 塩…小さじ1/2 セリ…50グラム
 1人分のエネルギー…190キロカロリー
 たんぱく質…10.9グラム
 塩分…1.9グラム

①ごはんにカタクリ粉、小麦粉を混ぜ、八分くらいまでつぶし、塩水をつけながら一口大の団子にする
 ②ゴボウ、ニンジンはささがきにし、ゴボウは水につける
 ③糸コンはゆがいてざく切り
 ④鶏肉は一口大のそぎ切り
 ⑤ネギはななめ切り
 ⑥だし汁を沸騰させ、鶏肉、こんにゃく、ゴボウ、ニンジンを加えて煮る
 ⑦火が通ったらしょう油、酒で調味し、だまっこを加える。だまっこの表面が固まったら、シメジ、ネギ、セリの順に加え、熱いところを食べる。好みで七味とうがらしをかけてもよい



次はお塩かなあ

駐在所ホットライン

◆暴力団対策法が施行されます

「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(いわゆる「暴力団対策法」)が三月一日から施行されていますので、この法律が皆さんの生活とどうかかわっているのかについてお話ししたいと思います。

◇とばく・ノミ行為・恐喝・用心棒代・覚せい剤の密売などがこれまでの暴力団の資金源でした。新聞などでご存じのように、暴力団組織はその資金源の獲得範囲を広げて、ごく一般人にも密接な商経済取引にまで介入するケースが増えているのです。

◇県内の暴力団組織は、そのほとんどがここ一、二年で山口組の傘下に入っております。二戸警察署管内にも暴力団の事務所があり、暴力団員がからむ飲み屋などでトラブルも現実に発生しています。

◇九戸村は、二戸市、八戸市などとの人的、物的結びつきが強いため、いつそのような兆しが現れても不思議ではありません。◇暴力団の勢力を増長させないためには、「人と金」を封じるこ

の法律では、従来取り締まりが難しかった、暴力団員による①口止め料の要求②寄付金などの金銭要求③縄張・使用量の要求④交通事故など示談への介入⑤不当利息を伴う債権の取立など、十一項目の「暴力的要求行為」が明確に禁止されました。◇たとえば、交通事故を起こしたら(遭ったら)警察にその状況を届けるのが当然なのですが、忙しいから面倒だからと届け出を怠ったため、相手にとんでもない請求をされたケースがあります。また、常識的に考えれば払う理由のないお金を、相手の言いなりになって出してしまい、取り戻せなかったりというケースもあります。

◇要求されてもすぐに返事をしない、またはだれかに相談することが鉄則です。

◇悪質商法などの被害者には、必ずといっていいほど、薬をして儲けよう、物を安く買いたいといったような「下心」があることが多いようです。常識を大きく外れた契約や取引は反面リスクも大きく、あとでそれを回復させることは非常に困難な場

合が多いものです。

◆編集後記

：アマチュア無線でエマリン嬢と話してみたい／問題は彼女にどうやってライセンスを取るよ

うにコンタクトするかです (川・邦)

身障者の巡回相談所

身体障害者(聴覚障害者)の福祉増進を目的に、身体障害者巡回相談所(耳鼻科)が次のとおり開催されます。

○内容：身体障害者手帳の要否診断及び補装具(補聴器)の交付要否と適合判定
○日時：三月二十三日午前十時から正午まで
○場所：二戸市役所一階会議室

村明るい選挙啓発習字コンクールの作品募集

○応募資格…村内に在住する小学校児童・中学校生徒
○募集期間…平成4年2月25日～3月20日
※応募及びお問い合わせは村選挙管理委員会 (☎④2111内線181)まで。



伊保内昭一

先日は村の読書感想文コンクールの表彰式に出席して入賞者の発表を聞きました。いずれも立派な感想文で感心しました。

また、最近、元内閣総理大臣鈴木善幸さんの「激動の日本政治を語る」という本を見て私と年代のズレはありますが、私が若い時に感動した本と鈴木善幸さんが感動された本と全く同じものだったのに驚きました。

それは、まず鶴見祐輔の本です。鶴見祐輔は、今は故人ですが、政党の幹事長や大臣もやっただ人です。国際外交に熱心な人であり、大雄弁家としても有名です。そして岩手県出身の大政治家であつた後藤新平の女婿でもあります。

特に文筆活動に秀れた方で、著書として「英雄待望論」「母子」「ナポレオン」をはじめ人物伝記や演説集が出版されてその大部分が昭和十年代の学生寮の図書室に備えられていて私も愛読しました。

次に、若き鈴木善幸さんが愛読したのは賀川豊彦の本です。

若いころ感動した2人の作家

賀川豊彦は、大宗作家であり、社会改良の運動家であり、また農協や生協の創設者でもあります。世界的にも有名な人で、米国のある都市には「賀川ストリート」という大通りがあるほどです。故人ですが、大正時代から昭和二十年代までに活躍した人です。著書は数多くあり、小説、論文、講演や演説集などを集大成した「賀川豊彦全集」全二十八巻が出版されています。

昭和の初めころに出版された小説で「死線をこえて」「一粒の麦」などは当時の青年に熟読されて大きな感動を与えました。

また、農業振興のために「立体農業」を提唱され、今でも全国各地にその実践者がおりますが、九戸村でも二人の人が実践しています。

中国の「春秋の筆法」を借りて表現しますと、「当時、三陸の小さな漁村に生まれた鈴木善幸を総理大臣にしたのは鶴見祐輔と賀川豊彦の本であつた」ということになります。

《九戸政実没後四百年目》

九戸政実を顧みる(その9)

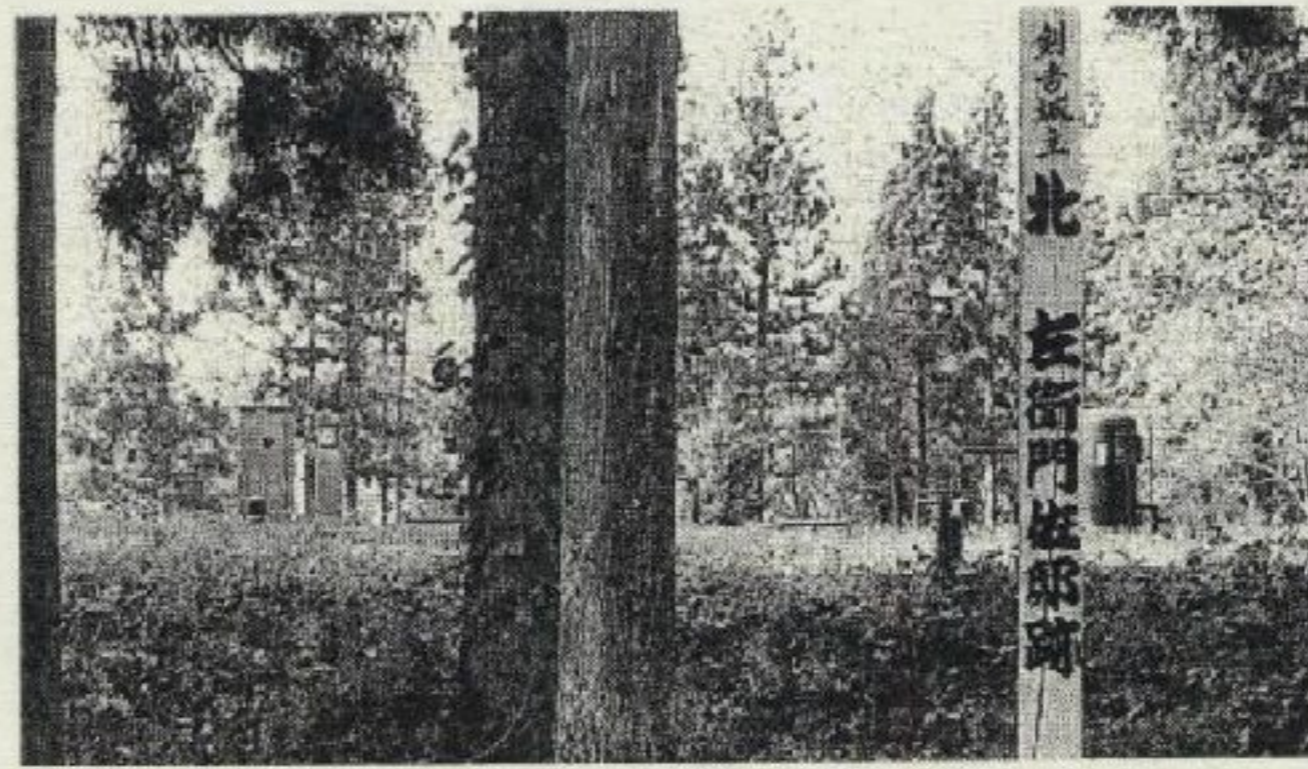
津軽において、以前から不穏な動きをみせていた為信は、こ

うかつな計算をしていた。

「三戸の視線は、反逆の武力をそろそろちらつかせてきた政実のほうを正面に据えて凝視している。三戸は、力の強い政実が一番怖い。だから、この遠隔の津軽の地にまで簡単に多軍勢を動かせるはずはない。たとえ、三戸軍勢がやってきたとしても、そのとき手薄となる三戸本拠地を政実が見逃すはずはなく、直ちに三戸一帯が政実の餌食となつて、津軽にやってきた三戸軍勢の戦力など束の間のものとなつてしまふだろう」という判断に基づき計算だった。

着々と準備をすすめた為信は、天正十七年(一五八九年)正月、津軽郡代石川政信(信直の弟)を毒殺、いよいよ次年三月には広い津軽を自分のものとするための独立蜂起の狼煙をあげるに至つたのである。新郡代の抵抗はもろく、津軽三郡はたちまちにして為信の手に握られてしまふこととなつた。

三戸としては、大変なことになるってしまった。このままだと三戸南部の面目丸潰れである。



北信愛邸跡、信愛は信直擁立の立役者だった

しかし、北の為信に軍勢を挙げれば、今度は、政実という者の反逆の狼煙が南側そばから上がるのだ。はたして、どうしたらいいものか。

ここで、千に一つの望みを賭けたことだろう。信直は、為信攻撃の先鋒を政実に命じることとしたのである。毒をもって毒を制す法だったが、しかし、どうしてどうして、もうそれがなされるような両者の関係ではなかった。命令を受けた政実はじめ九戸党諸氏だれもが、全く動

く気配を見せなかったのである。

じりじりした信直は、津軽を實際に奪ってしまった敵も見逃すわけにはいかないと、自ら兵を率いて三戸を進発した。が、七戸まで進んで、「三戸の手薄を狙った政実が、事を上げるらしい」という知らせを受けて仰天。三戸へとんで帰った信直は、もうどこへも動けなくなつてしまつた。

三戸からの支援を待つて、まだくすぶり残つていた津軽内の三戸方勢力もその間に為信によつて一掃されてしまふ。まさに、為信と政実の見事な暗黙の連携プレーである。

政実は、信直をけん制して為信の独立への動きを助けた。それに対する為信からの大きなプレゼントが、政実の胸の中いっぱいにおくられてもいたのである。「この政実にだって、南部の地を率いる夢が達成できるはずだ。それも、近いうちにな」

「早期の決起」を決断した政実の胸の奮い立ちと、事の達成への強い「自信」による胸の膨らみこそが、その為信からのプレゼントだった。

黒沢老眼子

初明り人の肺腑を照しけり
山の本を見る眼力や初仕事
鱈を食ひ人には罪の意識なし

菅野 岑子

シャンソンの流れてをりし初電話
幼子の髪梳く縁や初御空
風少しともない来たり寒の雨

神田こくし

キラキラと春立つ雪野眩しかり
北方の領土をつなぐ流水群

地吹雪や一夜を病みて男逝く
冬日向心晒せる友と居し
山門は子等の遊び場春兆す

年重ねしばれる夜の玉子酒
母偲び三寒四温の古里に
北を恋ふスワンの声の哀しとも

高島ふみ女

かたくなに悲しき心冬銀河
冬浪や悲しみの又おしよせて
冬苺ガラスの器紅に染め

野田 華風

初場所は若貴人気で国湧かす
田舎より貰いし餅や炉の香
雪掻いて又雪掻いて空を見る

桐川 十郎

父が子に継ぐみちのくの里神楽

むらびの文芸

第45回くのへ俳句会

雪峨峨とヘリコプターの影写し

古館やすお

玉子酒五十路も深し早寝癖
庚申塔吾を見ている小六月
冬苺ピアスの光る女とゐて

中野 凌翠

かじかみし手を吹き子らの雪
まろげ

週末や陽の在る内の雪見酒
すらすらと七章詠みし句の仲間

冬部 雪女



冬景色。でももうすぐ春が!

雪明り牛舎に白の尻動く
冬うらら前よりたたむ牛の膝

館村 青村

くさめまで親父の様に似て来たり
親交を深め炉端の一升酒
大寒の月もするとき夜明けかな

応募総数 317点
 文・感想画コンクール
 感想文
 感想書
 村民読書



おめでとう。これからも頑張って

平成三年度の村民読書感想文・感想画コンクールの表彰式は、二月七日村公民館で行われ、入賞七十八人に賞状や図書券などが贈られました。

同コンクールは、読書の意義を深めるとともに文章表現の習熟をねらって行われたもので、感想画と感想文合わせて三百七十七点の応募がありました。

幼児保育施設の代表者や学校の先生を中心とする十九人の審査委員（委員長・駒木二郎伊保内小学校長）が応募作品の審査を行い、村長賞と教育委員長賞各一点を決めたほか、優秀賞八点、入選三十三点、佳作三十五点を選びました。

入選した作品は「感想文・感想画入賞作品集」にまとめられ、

紹介する予定です。

審査の結果、村長賞、教育委員長賞、優秀賞に選ばれた方々は次のとおりです。（敬称略）

〔特別賞〕

◇村長賞Ⅱ平中敦子（伊高三年）

◇教育委員長賞Ⅱ河村朋美（江小三年）

〔優秀賞〕

◇感想文Ⅱ栗谷川愛（伊小一年）

市橋智子（宇小二年）

夏井絵美（同四年）

五枚橋麻理子（長小五年）

佐藤末樹（伊小六年）

宮川さつき（九中二年）

◇感想画Ⅱ東井由布子（戸保・四歳）

桐川千富美（江保・五歳）

審査委員長の講評



駒木二郎さん
 （伊保内小学校長）

全般的

良い本をたくさん読みましょう

に見て感

想画も良いできていた。

感想文は本の内容をきちんと読み取って、自分の意見を述べていたと思います。

感想画は大胆に描かれて、感動が良く表現されていました。

動が良く表現されていました。

動が良く表現されていました。

次の点に努力すれば、さらに良い感想文・感想画になると思っています。

①良い感想文・感想画を書くためには、年齢に合った良い本をたくさん読むことが大切です。

②誤

字、脱字

が多く見

うけられました。書きあげたら

もう一度見直してみましよう。

③規定枚数に達しないものも

ありました。コンクールに応募

する場合、規定枚数をきちんと

書くことが最低の条件です。

職場の健康診断で血色素量が血液の1デシリットル中〇・一グワ低いので、精密検査を受けるように通知がありました。

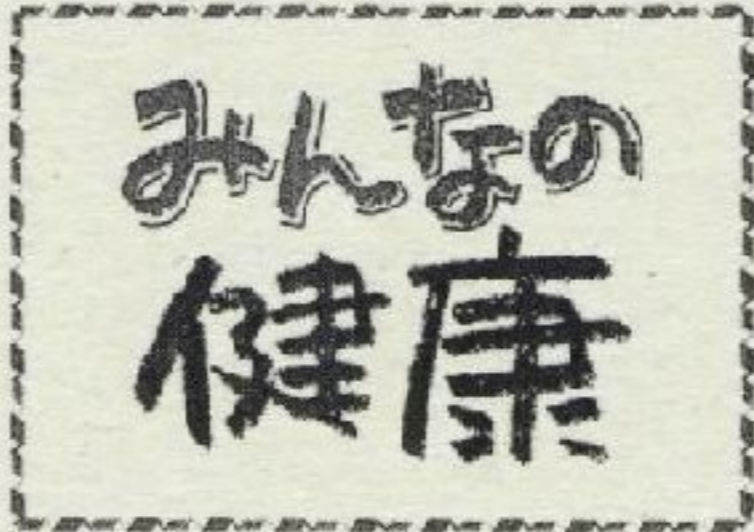
正常値は男性で十四グワから十八グワ、女性で十二グワから十六グワです。私は十一・九グワと〇・一グワ低かったのです。

このくらいなら「放っておいても」と思いましたが、

血液の赤血球に含まれる血色素量が正常値より減ると貧血になり心臓に大きな負担がかかると言われています。

また、貧血には、このように鉄分が不足し、赤血球の色素が非常に少なくなる鉄欠乏性貧血、出血によっておこる出血性貧血、赤血球が百二十日間の寿命を全うできず若死してしま

「貧血か」と放つのはだめ



たり、いろいろな貧血があるとすれば放っておけません。

そこで精密検査の前に、次のことを心がけてみました。

- 一、鉄分の多い食品を食べる：レバー、卵、ホウレンソウ、ひじき、のり、切り干し大根
- 二、鉄分の吸収をよくする食品をとる：①ビタミンCの多い食品Ⅱミカン、キヤベツ、ピーマン、小松菜②葉酸の多い食品Ⅲホウレンソウ、芽キヤベツ、プロッコリー、アスパラガス③銅の多い食品Ⅳソバ、大豆、豚肉、卵
- 三、規則正しい生活をする

その結果、血色素量が十二・一グワと正常値になりました。

みなさんも、健康診断を受け健康チェックをしてみませんか。

（村保健婦 山口）



すなごぶ・くのへ

お知らせ

役場窓口の混雑 解消にご協力を

転入や転出が多くなる3月と4月は、住民福祉課の窓口が大変込み合います。

窓口での事務が円滑に行われ、待ち時間が少しでも短くなるよう、次のことをご理解のうえ、ご協力をお願いします。

▼村外に移るとき(転出)や、村内に移ってきたとき(転入)には、転出証明書が必要です。

①転出のとき⇨転出証明書が住民福祉課から発行されます

②転入のとき⇨前に住んでいた市町村の役場で発行した転出証明書が必要です

▼転入・転出の手続きには、次のものを持参してください。

①印鑑 ②国民健康保険などの保険証 ③年金手帳

▼戸籍謄本・抄本をはじめ、住民票の写しなどの各種証明書の請求には、本籍や住所の地割・地番を正確に知っておくことが大切です。特に他人から頼まれて来たときは、地割・地番・生年月日のほか、使用目的を明示

して頂くことになっていきます。詳しくは、住民福祉課住民係(☎2111内線142)まで。

移動安定所を 3月から開設

二戸公共職業安定所では、村民のみなさんへのサービスのため3月17日から月1回(第3火曜日)移動安定所を、役場2階の住民相談室で午前10時から午後3時まで開催します。

主な業務の内容は、求人情報の提供、就職先のあっせん・紹介、仕事に関する相談、求人申し込みの受理、雇用保険制度の概要説明などです。仕事を探している方、働く人を求めている人は、お気軽にご相談ください。

詳しくは、二戸公共職業安定所(☎233341)まで。

土地や家屋の 無料相談開催

県土地家屋調査士会二戸支部では、4月1日の「表示登記の日」を記念して、次のとおり無

料相談を行います。

▼日時⇨4月1日(水) 午前10時~午後3時

▼場所⇨役場第1会議室

▼相談内容⇨①土地の分筆・合筆・地目変更・地積更正などの登記②建物の新築・増築・取り壊しなどの登記③土地・建物の調査測量④境界問題

固定資産の課税 台帳を縦覧中!

固定資産課税台帳を3月2日から3月21日までの間、役場税務課で関係者に対して縦覧を行います。

縦覧期間中は、土地や家屋などの固定資産の価格をはじめ、登録事項のすべてが無料で閲覧できます。

納税者は平成4年度の固定資産課税台帳に登録された事項について不服がある場合には、3月31日までに九戸村固定資産評価審査委員会に対して、文章で審査の申し出をすることができます。

詳しくは役場税務課(☎2111内線136)まで。

村税・年金の納期

3月31日までに

国民年金保険料 3月分

を納付しましょう。

納め忘れていた村税と年金は、早めに納付してください。

心配ごと相談

(担当民生委員)

- 3月3日(火) ⇨生活一般…千葉 豊重さん
- ⇨生活一般…上柿 清さん
- 3月17日(火) ⇨人権関係…中村 成喜さん
- ⇨生活一般…中野 由蔵さん

○時間 午後1時30分~3時30分

○場所 役場2階第1会議室

※相談ご希望の方は、当日直接会場へおいでください。個人の秘密は守られます。

シルバーシート^④

シルバー・シートとは電車やバスなどのお年寄り優先の座席のことです。

第16回 村老連レク大会



熱演が続きました

歌や踊りを楽しむ 第16回 老人クラブレク大会

村老人クラブ連合会（稲森源右工門会長）主催の第16回老人クラブレクリエーション大会は、二月六日村公民館で行われ九つの老人クラブから約四百人のお年寄りが集まりました。

この大会はお年寄りたち相互の親睦を図り、健康保持と生きがい高めようと毎年行われているものです。

この日のために練習を重ねてきたお年寄りたちが、歌や踊りなど四十五の演目を披露すると、観客から大きな拍手が送られ、発表者も観客も一緒に楽しんでいる様子を見ることができました。



年金保険料が 改定されます

国民年金の加入者のうち、農林漁業や自営業などをしていない人、その奥さん、及び学生などの第1号被保険者と、希望して加入している任意加入者が納める国民年金の保険料が、今年4月から改定されます。

保険料は平成4年4月から月額9千700円です。

平成4年4月中に保険料を1年分まとめて納めると、年額11

廃車手続きは 3月20日までに

自動車税は、原則として4月1日現在の陸運支局の登録に基づき課税されます。転売したり解体しても、陸運支局で廃車手続きなどをしなければ平成4年度の自動車税が課税されます。

そのため、3月中に廃車手続きや名義変更手続きを済ませようとする方々で陸運支局窓口が、大変混雑し、申請者の方々は長時間お待ちいただくなど大変ご迷惑をおかけしています。

特に、3月20日以降は通常30分くらいの待ち時間が3時間にもなりますので、名義変更や廃車の手続きは、3月20日以前に済ませようお願いします。

また、3月は車検も大変混雑します。継続検査は検査の有効期間が切れる1カ月前から受けても、期間が短くなることはありませんので、早めに受検するようお勧めします。

職業訓練大学校 受講生を募集

職業訓練大学校では、通信講座の受講生を募集しています。

◎訓練科目：▽1級Ⅱ機械加工科、仕上げ科、板金科、配管科、機械製図科、建築大工科、機械検査科、▽2級Ⅱ前記の外金属プレス加工科、電気機器組み立て科など22科

◎受講資格：実務経験があればどなたでも受講できます。

詳しくは、雇用促進事業団岩手技能開発センター（☎0198-235354）まで。

定期健康相談

（午前9時30分～正午）

7日(出)…老人福祉センター
保健センター
21日(出)…ふるさとセンター
細屋ふれあいセンター

3月のごみ収集日

収集区域	燃えるごみ	燃えないごみ
瀬月内～山根	(水曜日) 4・11・18・25	(第1・3・5月曜日) 2・16・30
荒谷～ 伊保内上・川向	(木曜日) 5・12・19・26	(第1・3・5火曜日) 3・17・31
伊保内下～ 長興寺下	(金曜日) 6・13・20・27	(第2・4月曜日) 9・23
大向・五枚橋・荒田 雪屋・江刺家	(土曜日) 7・14・21・28	(第2・4火曜日) 10・24
必ず指定日に出しましょう（朝8時まで）		

新学卒者の二戸地区 合同歓迎受入式開催

- とき 平成4年3月25日
午前10時
- ところ 二戸市民文化会館
中ホール
- 内容
 1. 歓迎受入式
 2. 表彰式
 3. 講演
 4. 映画上映「息子」



わが家の 人気者

七戸麻美ちゃん (2歳1カ月)

細屋/七戸 一男さん夫妻・二女
淳子さん

お人形さんが大好きで、出かける時も寝る時もお人形さんと一緒。その反面性格は何にでも興味を示し、行動的だとか。将来は「健康で明るく、心の痛みの分かる人間になってくれれば最高です」とお母さん。

九戸村ビデオ広報 みんなの広場

■ 3月の放映番組の紹介 ■

次の番組が20分テープに編集・収録されています。役場2階の村民室に用意していますので、お気軽にご覧ください。

(この番組のテープ貸し出しや録画も行っています)

●ビデオデスク

社会福祉大会

●わが家の人気者

七戸麻美ちゃん



3月の土曜閉庁日
14日・28日



▽生まれのお子さん8人
(1月16日〜2月15日届出分)
()内は生まれた日

▽生まれたお子さん8人
(1月) ()内は生まれた日

南田 古館 知美 (18日)
武之 二女 (18日)

妻の神 中村 未希 (27日)
健司 二女 (29日)

田代 長畑 暢 (31日)
功 長男 (31日)

戸田上 関口 綾香 (1日)
守 長女 (1日)

細屋 細川 風翔 (6日)
則男 長女 (6日)

道地 小田沢 親代 (7日)
貞治 長女 (7日)

細屋 七戸 彩夏 (11日)
長女 (11日)

▽亡くなられた方11人
()内は亡くなられた日

(12月)

長興上 王川 千秋 (18日)
1歳 (18日)

平成4年1月31日現在

()内は前月比

人口総数 8,161人 (-27人)

男 4,017人 (-11人)

女 4,144人 (-16人)

世帯数 2,167世帯 (-5)

1月の異動届 (出生3人 死亡6人 転入3人 転出27人)

村の人口 の動き

南田 坂田 勝定 (21日)

瀬月内 上平 和子 (26日)

江刺上 小野寺 マツエ (26日)

田代 滝谷 與手松 (28日)

南田 田名部 キク (3日)

田代 秋元 宗二 (9日)

泥の木 浅水 信 (10日)

荒田 三澤 フミ (12日)

南田 田村 マツ (4日)

南田 神田 正也 (11日)

62歳 (11日)

村の面積—133.93平方町 (東京ドーム球場の約2,800倍の広さ)

行政区別飲酒運転絶滅 コンクールを実施中

1月1日〜12月31日

村の交通死亡事故ゼロ日数 407日 2月20日現在

村内の交通事故 (1月末)

()内は1月からの累計

◇人身事故 0件 [0件]

◇物損事故 9件 [9件]

●死者0人 [0人]

●傷者0人 [0人]

▶ 3年1年間の交通事故 ◀

◇人身事故 4件

◇物損事故 47件

●死者1人 ●傷者3人

飲酒運転検挙者 (1月末)

数字はすべて1月からの累計

()内は村外で検挙された数

戸田地区 0人 (0人)

伊保内地区 0人 (0人)

江刺家地区 0人 (0人)

合計 0人 (0人)

▶ 2年1年間の飲酒運転検挙者の合計 12人 (3人)